2019年度

SYLLABUS

講　義　要　項

子ども学科

山村学園短期大学

子ども学科　　SYLLABUS　もくじ

頁	科目名	担当教員名
【教養科目】		
	日本国憲法	2年生科目
	体育講義	2年生科目
	体育実技	2年生科目
	保育英会話	2年生科目
1	生命倫理	渡邊
2	コンピュータ基礎演習	新井誠
3	キャリアアップセミナーⅠ ＊	鴨志田/宇田川/相沢/橋本淳
	キャリアアップセミナーⅡ	2年生科目
4	保育入門	室井/今村/山村
【保育の本質・目的に関する科目】		
5	保育原理 ＊	室井
	教育原理	2年生科目
6	子ども家庭福祉	橋本淳
	社会福祉	2年生科目
	子ども家庭支援論	2年生科目
7	社会的養護Ⅰ	宇田川
8	保育・教職論	野口
	特別支援教育	2年生科目
【保育の対象の理解に関する科目】		
9	保育の心理学 ＊	山村/今村
	子ども家庭支援の心理学	2年生科目
	子どもの理解と援助	2年生科目
10	子どもの保健	田中
	子どもの食と栄養	2年生科目
【保育の内容・方法に関する科目】		
	保育・教育課程論	2年生科目
	保育内容総論	2年生科目
11	保育内容健康	新井英
12	保育内容人間関係	室井
13	保育内容環境	野口
14	保育内容言葉	相沢
15	保育内容表現	鴨志田
16	音楽	福泉/数野/大導寺/町田/福士
		中川/宮尾
17	図画工作	橋本夏
18	幼児体育	鴨志田
19	乳児保育Ⅰ	今村
20	乳児保育Ⅱ	山田
21	子どもの健康と安全	田中
22	障がい児保育	宇田川
	社会的養護Ⅱ	2年生科目
23	子育て支援	室井
24	健康と人間関係の指導法	新井英/室井
	環境の指導法	2年生科目
25	言葉と表現の指導法	相沢/鴨志田
26	造形表現の探究	橋本夏
27	音楽表現の探究	福泉
28	子ども文化演習A	大島/尾崎
	子ども文化演習B	2年生科目
29	ピアノA	数野/大導寺/福士/中川/宮尾
	ピアノB	2年生科目
【教職に関する科目】		
30	教育方法・技術論	今村/橋本淳
	教育相談	2年生科目
	教育行政学	2年生科目
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2年生科目
【保育者の資質を高める科目】		
31	基礎演習 ＊	鴨志田/宇田川/相沢/橋本淳
	総合演習	2年生科目
	乳児小児救命法	2年生科目
32	アウトドア演習A	新井英/井上
	アウトドア演習B	2年生科目
33	ソーイング演習	菅原
	ナチュラルアート	2年生科目
34	ダンスムーブメント	鴨志田
【実習科目】		
35	実習指導Ⅰ ＊	橋本淳/相沢/今村/室井
36	実習指導Ⅱ ＊	橋本淳/相沢/今村
		宇田川/室井
	実習指導Ⅲ	2年生科目
37	保育実習Ⅰ ＊	室井
38	施設実習Ⅰ ＊	宇田川
	保育実習Ⅱ	2年生科目
	施設実習Ⅱ	2年生科目
39	教育実習Ⅰ ＊	今村
	教育実習Ⅱ	2年生科目
	カリキュラムツリー	
	実務教員略歴	
	＊実務教員科目	

教　養　科　目

授業科目名	生命倫理			教員名	渡邊 智寛		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針
							DP2
授業内容を示すキーワード	生殖補助医療、遺伝子操作、子どもの自己決定、脳死・臓器移植、安楽死、動物の生命、環境問題						
授業の概要	生命が関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにとって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。周囲に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 規範が複雑化し価値観が多様化した現代社会では、高度な倫理的判断力が求められます。機械的な対応に陥らず自ら思考し判断する力が欠かせません。専門的な知識を獲得したうえで、倫理的に思考し、判断し、応用する力を養成します。他人の意見を理解し尊重する態度も養います。 【到達目標】 (1)生命倫理的諸問題を具体的かつ詳細に理解することができる。 (2)各学説の意味と目的を正確に理解することができる。 (3)各問題に対し自分の意見を形成することができる。 (4)その意見の根拠・理由を正確に説明することができる。						
授業の方法等	「授業形態」は「講義」となっていますが、学生グループによる調査や発表、全員参加の討論が中心となります。授業の終盤では教員による総括と解説がなされます。統計や新聞記事、ビデオ教材なども扱います。自分の意見とその理由などを論述する課題（授業内提出物）もあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 30%						
教科書	なし（適宜資料を配付）						
参考書	調査・発表テーマに応じ、適宜教員が指示します。						
関連科目	子どもの保健						
質問受付の方法	講義前後の時間帯に、教室または講師控室にて。 bioethics.mn@gmail.com						
履修上の注意	普段から講義内容に関連するテレビ・新聞・インターネット等の情報になるべく多く接するよう心掛けてください。家族や友人と話し合うことなども強く薦めます。						

授業計画と時間外学習	1	導入： 生命倫理学とはなにか 〈予習〉シラバスを用いてどのようなテーマを扱うか確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見返す。 90分
	2	生命の始まりに関わる問題① 生殖補助技術、人工妊娠中絶 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	3	生命のはじまりに関わる問題② 子供の選択、権利は誰のものか 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	4	生命の取り扱いに関わる問題① 遺伝子操作、クローン人間 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	5	生命の取り扱いに関わる問題② 遺伝子の選択と排除、ヒトの改良と強化 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	6	生命の質と自己決定に関わる問題① 医師―患者関係、高度医療資源配分問題 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	7	生命の質と自己決定に関わる問題② インフォームド・コンセント、QOLとSOL 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	8	生命の終わりに関わる問題① 脳死・臓器移植、安楽死・尊厳死、終末期医療 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	9	生命の終わりに関わる問題② 死の概念、治療の概念、死を認める条件 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	10	人間以外の生命に関わる問題① 命を食す、ペットを飼う、動植物を利用する 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	11	人間以外の生命に関わる問題② クジラ・イルカ漁の是非、普遍的道徳と文化相対主義 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	12	環境と人間に関わる問題① 自然とは何か、自然と人間の関係、未来に対する責任 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	13	環境と人間に関わる問題② ディープ/シャロー・エコロジー、生命圏全体主義 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	14	総論① 生命倫理基本四原則＋自律尊重原理、功利主義、（新）優生主義 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
	15	総論② 自己決定、愚行権、パーソン論、動物・環境の権利 〈予習〉配布・指示された資料を確認する。 90分 〈復習〉配布資料を見直す。 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	コンピュータ基礎演習			教員名	新井　誠		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔66条の6〕						卒業認定・学位授与方針
							DP2
授業内容を示すキーワード	コンピュータ・インターネット・セキュリティ・ワード・エクセル・パワーポイント						
授業の概要	コンピュータの基礎的な使用法と情報セキュリティについて学ぶ						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 現代社会ではコンピュータを用いた情報活用能力が求められている。この能力は、情報の収集、整理、分析、表現に大きく分けることができる。これらの能力を演習により習得する。 【到達目標】 この科目においては、これらの能力の基礎的な部分を習得することを目標とする。 具体的には次の４点である。 ・インターネットの利便性および危険性を踏まえて活用できること。 ・プレゼンテーションソフトを使って、説得力のあるプレゼンができること。 ・ワープロソフトを使って、図や表を取り込んだビジネス文書を作成できること。 ・表計算ソフトを使って、簡単なデータの加工ができること。						
授業の方法等	コンピュータを一人一台ずつ使用し、演習を中心行う。4つテーマについて、各演習課題を印刷して提出する。 事前に指定されたページ（プリント・教科書）を良く読み授業に臨むこと。 授業終了後は、課題シートに完成した日付を記入してファイルにまとめること。 事前学習・演習（説明を含む）・まとめは各90分とする。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記・実技 〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物〔 演習課題等 〕30%						
教科書	ミニマニュアルシリーズ Office 2010（数研出版） ISBN:978-4-410-70260-0						
参考書	保育者のためのパソコン講座（萌文書林） ISBN:978-4-89347-190-1						
関連科目	保育実習Ⅰ・Ⅱ、施設実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	主に授業の前後に受付ける。（出勤日であればいつでも遠慮なくどうぞ、可能な限り対応）						
履修上の注意	演習データ保存用（講義中に指示する）には、各自のUSBメモリーを使用する。（パソコンのハードディスク内には保存しない） 高等学校共通必履修教科「情報」を習得済を前提として演習を進める。						

授業計画と時間外学習		
	1	オリエンテーション （コンピュータを上手に使えるようになろう） 〈予習〉高校時代の教科書で、習得した内容を振り返る。 90分 〈復習〉配布資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。 90分
	2	Windows 7を使ってみよう。 〈予習〉高校時代の教科書で、OSの内容を振り返る。 90分 〈復習〉配布資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。 90分
	3	インターネットの仕組みを理解して、 安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう。 〈予習〉教科書p156～を読み、疑問点に下線を引き整理する。 90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。 90分
	4	パワーポイント 2010を使ってプレゼンをしてみよう。 〈予習〉教科書p108～を読み、疑問点に下線を引き整理する。 90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。 90分
	5	プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。(1)パワーポイント 2010を使ってみよう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	6	プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。(2)パワーポイント 2010の便利な機能を使おう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	7	プレゼンテーション（発表文書）を作成してみよう。(3)パワーポイント 2010を使いこなそう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	8	作成した文書を、パワーポイント使ってプレゼンをしてみよう。 〈予習〉教科書p108～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	9	ワード 2010を使って文書を作成してみよう。 〈予習〉教科書p16～を読み、疑問点に下線を引き整理する。 90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。 90分
	10	ビジネス文書を作成してみよう。(1)ワード 2010の便利な機能を使おう。 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	11	ビジネス文書を作成してみよう。(2)ワード 2010のを使いこなそう。 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	12	ビジネス文書を作成してみよう。(3)ワード 2010で「おたより」を作ろう。 〈予習〉教科書p16～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	13	表計算アプリを使ってデータ処理をしてみよう。 〈予習〉教科書p66～を読み、疑問点に下線を引き整理する。 90分 〈復習〉配布資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。 90分
	14	エクセル2010の基本操作を使ってデータ処理をしよう。 〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
	15	エクセル2010の便利な機能を使ってデータ処理をしよう。 〈予習〉教科書p66～を読み、演習課題に必要なデータを準備する。 90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記・実技〕 70分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕 20分	

授業科目名	キャリアアップセミナーⅠ　＊			教員名	鴨志田　加奈/宇田川　和久 相沢　和恵/橋本　淳一		
配当年次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	◎卒業必修						卒業認定･学位授与方針 DP6
授業内容を示すキーワード	学習ゼミ　少人数指導　保育に関する専門性　自己理解						
授業の概要	前期は、「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、幼稚園や保育所、小学校の教員等としての実務経験を元に保育現場での具体的・実際的な数テーマを取りあげ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指します。 後期は、1・2年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、各グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。 後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 様々なキャリアップテーマや興味・関心を同じくするゼミの学習を通して、保育者として必要な専門的知識・技術を身につけ、保育者としての自覚を高め、キャリアップを図る。 【到達目標】 保育者に必要とされる知識・技術を定着させる。共感性、協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。 保育者・社会人として必要とされる資質・能力の向上を継続的に図ることができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分（後期）を除く、通年29回の授業を行う。 キャリアップにつながる行事や学習の準備活動はクラス単位または学生全体で講義・演習形式で行う。 学習ゼミは、希望調査をもとに、15名程度の1・2年合同少人数グループを編成し、ゼミナール形態で行う。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度（キャリアアップの学習 30%、行事参加 20%、ゼミナール 50%）100%						
教科書	特に使用しません。必要な資料は適宜配布します。						
参考書	適宜指示します。						
関連科目	基礎演習、総合演習、キャリアップセミナーⅡ						
質問受付の方法	各担任、学習ゼミ担当に直接質問してください。						
履修上の注意	キャリアップセミナーⅠ（第2時限）と基礎演習（第1時限）とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験Ⅳとして、土日祝等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授業計画と時間外学習				
	1	サークル紹介 〈予習〉シラバス・学生便覧（学年暦・学生生活の案内等）を熟読〈復習〉学習計画をまとめる	16	クラスゼミ、TDL振り返り 〈予習〉TDL探検学習への参与の自己点検・評価 〈復習〉クラスでの討議を振り返る
	2	クラスゼミ 〈予習〉クラスづくりを考える 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る	17	運動会リハーサル 〈予習〉運動会の準備を理解する 〈復習〉運動会準備を確認、自己点検・評価する
	3	クラスゼミ 〈予習〉クラスづくりを考える 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る	18	運動会 〈予習〉運動会の進行を理解する 〈復習〉運動会参加を自己点検・評価する
	4	防災訓練、学生総会 〈予習〉防災避難訓練を考える 〈復習〉防災避難訓練の自己点検・評価	19	クラスゼミ 〈予習〉来学園児対応計画を考える 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る
	5	ﾅﾁｭﾗﾙ保育検定、やまたんﾃｷｽﾄ効果測定事前学習 〈予習〉テキストを使って試験対策をする 〈復習〉ワークシートをまとめる	20	来学する園児対応の準備、双子ちゃん集まれ参観 〈予習〉来学園児の対応準備を考える 〈復習〉参観の振り返り、来学園児対応準備を確認
	6	保育体験Ⅰ（ふれあい体験）① 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 〈復習〉振り返りシートをまとめる	21	保育体験Ⅲ（施設見学） 〈予習〉施設見学の準備 〈復習〉見学記録をまとめる
	7	保育体験Ⅰ（ふれあい体験）② 〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 〈復習〉振り返りシートをまとめる	22	来学した園児とふれあおう 〈予習〉来学園児の対応を確認する 〈復習〉園児対応を自己点検・評価する
	8	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉山緑祭のクラス企画を考える 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る	23	実習報告会（1・2年合同） 〈予習〉実習経験を振り返る 〈復習〉報告会の見聞をまとめる
	9	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）① 〈予習〉園見学のイメージづくり 〈復習〉見学記録をまとめる	24	学習ゼミ① 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 〈復習〉ゼミの活動への参与を自己点検・評価する
	10	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）② 〈予習〉園見学のイメージづくり 〈復習〉見学記録をまとめる	25	学習ゼミ② 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 〈復習〉ゼミの活動への参与を自己点検・評価する
	11	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉山緑祭準備の確認 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認	26	学習ゼミ③ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 〈復習〉ゼミの活動への参与を自己点検・評価する
	12	クラスゼミ（山緑祭準備） 〈予習〉山緑祭準備の確認 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認	27	クリスマス会リハーサル 〈予習〉クリスマス会の目的・準備を確認する 〈復習〉リハーサルへの参与を自己点検・評価
	13	小川町七夕まつり準備① 〈予習〉小川町七夕祭りの理解と準備の確認 〈復習〉七夕準備の進捗状況の確認	28	学習ゼミ④ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 〈復習〉ゼミの活動への参与を自己点検・評価する
	14	小川町七夕まつり準備② 〈予習〉小川町七夕祭りの理解と準備の確認 〈復習〉七夕準備の進捗状況の確認	29	学習ゼミ⑤ 〈予習〉ゼミの活動を理解し準備する 〈復習〉ゼミの活動への参与を自己点検・評価する
	15	里山保全・動物飼育体験学習オリエンテーション 〈予習〉体験学習の目的・内容を整理する 〈復習〉体験学習の進め方を確認する		＊〈予習〉〈復習〉は各90分
定期試験	◆定期試験は行わない		◆定期試験は行わない	

授業科目名	保育入門			教員名	室井　佑美/今村　麻子 山村　穂高		
配当年次	1	開講時期	半期	単位数	2	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係							卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	本短大と山村国際高校との連携科目。山村国際高校での授業内で実施。保育所での体験学習。						
授業の概要	1　前半は、保育技術検定2級の筆記試験対策を行い、後半は現場での実践的な知識、技能を習得する。 　例えば絵本の読み聞かせ、手遊び、造形、子どもの病気やケガなどについて学習する。 2　夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1　保育技術検定2級合格を目指し、言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の筆記試験で合格できるようにする。 2　保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形の技術等の基本的な技能を身につける。 3　保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。 【到達目標】 1　保育技術検定2級合格に必要な言語表現技術、造形表現技術、看護表現技術の知識を説明できる。 2　保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形技術などの基本的な技能を実際に活用することができる。 3　保育所での体験学習を通し、保育の現場の雰囲気を感じ、感じたことを言葉で表現することができる。						
授業の方法等	山村国際高校での授業15回（100分×15回）と保育所での体験学習半日×3日間。						
成績評価の基準と方法	■試験〔前期：筆記/後期：レポート〕 50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教科書	指定なし						
参考書	指定なし						
関連科目	保育士養成に係る科目全般。						
質問受付の方法	授業時間中または授業前後で質問を受け付けます。						
履修上の注意	本短大に入学後、本学保育学科の必要卒業単位数に単位を算入します。保育所での体験学習は本短大の近隣の園で実施する予定。山村国際高校との日程の調整により、内容の変更があるので注意すること。						

授業計画と時間外学習				
	1	オリエンテーション 〈予習〉なし。 〈復習〉作成したプリントで復習を行う。 170分	9	保育実践ー手あそび 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	2	造形表現技術基礎知識の習得① 色彩の基礎知識 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分	10	保育実践ー絵本の世界 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	3	造形表現技術基礎知識の習得② 描画技法 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分	11	保育実践-触れ合い遊び 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	4	造形表現技術基礎知識の習得③ 絵の発達段階 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分	12	保育実践-楽器を作る 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	5	言語表現技術基礎知識の習得① 絵本、紙芝居の基礎知識、読み語り 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分	13	保育実践ースタンプ遊び 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	6	言語表現技術基礎知識の習得② 色々な言葉遊び、シアター 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分	14	保育実践ーカードを作る 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	7	言語表現技術基礎知識の習得③ 言葉の発達段階 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分	15	保育実践ーペープサートを作る 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分
	8	それまでのまとめ、確認テストと体験学習準備 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分		
	体験学習	保育体験学習（近隣保育園にて） 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分		
	体験学習	保育体験学習（近隣保育園にて） 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分		
	体験学習	保育体験学習（近隣保育園にて） 〈予習〉プリント実施。 80分 〈復習〉プリント実施。 90分		
試験	◆試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説 〕30分		◆試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 コメントを入れて返却 〕	

保育の本質・目的に関する科目

授業科目名	保育原理 ＊			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業･免許･資格との関係	◎卒業必修 〇保育士資格必修〔保育原理〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	保育所保育　養護　教育　保育思想　保育史　保育所保育指針　子ども･子育て支援新制度　保育士						
授業の概要	保育の意義、基本、方法などの保育の原理を学びます。さらに、日本と諸外国の保育の思想、歴史を知り、保育に関連した制度や課題を把握します。そのうえで、「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。また、保育に関する問題意識をもち、子供への理解、保育現場に対する理解等、様々な力を身につけます。また、保育士として保育現場で勤務経験を有する実務教員であることから、保育現場での保育者視点、子ども･保護者視点、地域の住民の視点等多角的に現状を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士資格を取得するための必修科目であり、保育士の専門性に関する根本を学ぶ。保育の本質を探究することで、保育者としての資質向上を目指す意欲を養う。 【到達目標】 保育所保育指針、保育内容と方法について説明することができる。保育の思想や歴史の変遷をとらえ、現在の保育施策の背景や現状を説明することができる。保育の意義を自分なりに示しながら、保育の諸課題について問題意識をもって主体的にこれから求められる保育の姿を考えていくことができる。						
授業の方法等	講義形式を中心に行います。一部従業内で視聴覚教材の使用、演習など行います。 また、リアクションペーパーの作成を求め、自分自身の意見をまとめることを多く行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕60% ■授業への取り組み･態度 30% ■提出物 10%						
教科書	「保育原理の基礎と演習」柴崎正行編著　わかば社 保育所保育指針解説　幼稚園教育要領解説　幼保連携型認定こども園教育･保育要領解説						
参考書	保育小六法、その他授業中に適宜紹介します。						
関連科目	保育･教職論　保育内容（健康･人間関係･言葉･環境･表現）　教育原理　保育･教育課程論　など						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室およびリアクションペーパー等で受け付けます。						
履修上の注意	授業内で配布するプリント等に書き込み、ノートの作成を行います。学んだことは一両日に整理してまとめておきましょう。専門用語は用語辞典で調べる、制度に関しては厚生労働省や内閣府子ども･子育て本部のホームページを参照するなどして、主体的に知識を得る学習習慣を身につけてください。特に復習で扱うプリントをまとめる行為は重視してください。 やむを得ず欠席する場合は、翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認をしてください。						

授業計画と時間外学習		
	1	オリエンテーション、保育とは何か（理念と概念） 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉教科書内に指定されたｷｰﾜｰﾄﾞを見つけ、ﾗｲﾝを引く。指定ﾌﾟﾘﾝﾄに学習内容をまとめる 180分
	2	保育所･幼稚園･認定子ども園に関する法的･制度的位置づけ、資格･免許について、最新の動向（1） 〈予習〉第2回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	3	保育所･幼稚園･認定子ども園に関する法的･制度的位置づけ、資格･免許について、最新の動向（2） 〈予習〉第3回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 30分 〈復習〉第2･3回分の学習内容を指定プリントにまとめる 150分
	4	地域型保育事業（小規模保育、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型保育）の制度的位置づけ、最低基準 〈予習〉第4回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 30分 〈復習〉指定プリントに学習内容をまとめる 150分
	5	日本の保育施策の動向（子ども･子育て支援新制度を中心に） 〈予習〉第5回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 30分 〈復習〉指定プリントに学習内容をまとめる 150分
	6	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育･保育要領の構成と詳細（1） 〈予習〉第6回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	7	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育･保育要領の構成と詳細（2） 〈予習〉第7回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 30分 〈復習〉第6･7回分の学習内容を指定プリントにまとめる 150分
	8	子どもの理解に基づく保育の過程（計画･実践･記録･省察･評価･改善）とその循環（1） 〈予習〉第8回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	9	子どもの理解に基づけ保育の過程（計画･実践･記録･省察･評価･改善）とその循環（2） 〈予習〉第9回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 30分 〈復習〉第8･9回分の学習内容を指定プリントにまとめる 150分
	10	諸外国における保育･教育思想と歴史的変遷 〈予習〉第10回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	11	日本における保育･教育思想と歴史的変遷 〈予習〉第11回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	子育て支援･保護者支援（制度的位置づけ、支援機関や事業、保育者の役割について）（1） 〈予習〉第12回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	13	子育て支援･保護者支援（制度的位置づけ、支援機関や事業、保育者の役割について）（2） 〈予習〉第13回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 30分 〈復習〉第12･13回分の学習内容を指定プリントにまとめる 150分
	14	多様な保育内容、保育方法(日本、諸外国も含めて） 〈予習〉第14回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
	15	保育の未来に対する課題と展望 〈予習〉第15回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 90分 〈復習〉配布資料を読む 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕80分 ◆振り返り･フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕10分	

授業科目名	子ども家庭福祉			教員名	橋本　淳一		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔子ども家庭福祉〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	保育　保育所　子どもの人権擁護　子ども･子育て新制度　社会的養護						
授業の概要	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷、子どもの人権、子ども家庭福祉の制度や実施体系、地域子育て支援、子ども虐待･DV、社会的養護、次世代育成支援等子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育が福祉の一分野であることを理解し、保育、子ども･子育て支援を中心に、子どもや家庭に関する実情や制度について、福祉の観点から捉え直すことをめざす。 【到達目標】 保育者に必要な子ども家庭福祉の意義や歴史的変遷、制度と法律、実施体系などを理解している。子育て支援、子ども虐待、障害のある子ども、社会的養護その他子どもと家庭をめぐるさまざまな問題を理解し、その対応を主体的に考えることができる。						
授業の方法等	パワーポイントのスライドとプリントを使い講義形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕80% ■授業への取り組み･態度 20%						
教科書	成清美治･吉弘淳一編著『児童や家庭に対する支援と児童･家庭福祉制度』学文社、2011年. （2,160円）						
参考書	『保育者のための児童家庭福祉データブック2019』(中央法規出版)						
関連科目	社会福祉　社会的養護Ⅰ･Ⅱ						
質問受付の方法	担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	各回配布するプリントの管理と整理は自己責任で行ってください。						

授業計画と時間外学習	1	オリエンテーション～子ども家庭福祉の意義と保育～ 〈予習〉テキスト第1章1･3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	2	子ども家庭福祉の現代的背景 〈予習〉テキスト第2章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	3	子どもの権利とそれを守る取り組み 〈予習〉テキスト第1章2･4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	4	子ども児童家庭福祉の歴史的変遷 〈予習〉テキスト第3章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	5	子ども家庭福祉の主要な法律　子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第4章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	6	世界における子どもの権利の実情① 〈予習〉テキスト第2章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	7	世界における子どもの権利の実情② 〈予習〉前回プリントの読み返し 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	8	子ども家庭福祉の行政と実施機関 〈予習〉テキスト第4章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	9	子ども家庭福祉の施設と専門職 〈予習〉テキスト第5章2第8章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	10	社会的養護の意味と施設 〈予習〉テキスト第3章1第5章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	11	子ども家庭支援の展開～母子保健、子ども虐待･DV、貧困家庭･外国籍の子どもへの対応～ 〈予習〉テキスト第6章を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	12	地域子育て支援と子ども･子育て新制度 〈予習〉テキスト第2章5第6章8を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	13	障害のある子どもの福祉 〈予習〉テキスト第3章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	14	授業のまとめ 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	15	問題演習 〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り、理解を定着 90分
定期試験	◆定期試験〔 試験 〕60分 ◆振り返り･フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	社会的養護Ⅰ			教員名	宇田川　和久		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔社会的養護Ⅰ〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護						
授業の概要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要とされる考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習得します。 【到達目標】 1 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 2 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。 3 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4 社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。 5 社会的養護の現状と課題について理解する。						
授業の方法等	基本は講義形式としますが、主体的な学びを進めるため、アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。 社会的養護に関する新聞記事の切り抜きとその記事に関するレポート作成の課題提出を求めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔 小テスト 〕10%						
教科書	「新基本保育シリーズ⑥社会的養護Ⅰ」相澤・村井編、中央法規、2,000円（税別）						
参考書	厚生労働省ホームページ						
関連科目	社会的養護内容、児童家庭福祉、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	里親制度、児童虐待などに関する新聞記事をスクラップし、記事の中の専門用語や記事に対する自身の考えをまとめて社会的養護に対する理解を図るようにしてください。						

授業計画と時間外学習	1	社会的養護の理念と概念 〈予習〉社会的養護に関する法令等を含め情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	2	社会的養護の歴史的変遷 〈予習〉社会的養護の歴史について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	3	子どもの人権擁護と社会的養護 〈予習〉子どもの人権に関する新聞記事等を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	4	社会的養護の基本原則 〈予習〉児童福祉法の改正に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	5	社会的養護における保育士等の倫理と責務 〈予習〉保育士の倫理綱領について整理する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	6	社会的養護の制度と法体系 〈予習〉社会的養護の制度に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	7	社会的養護のしくみと実施体系 〈予習〉社会的養護の制度について整理する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	8	社会的養護とファミリーソーシャルワーク 〈予習〉ソーシャルワークに関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	9	社会的養護の対象と支援のあり方 〈予習〉児童虐待に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	10	家庭養護と施設養護 〈予習〉里親と施設養護の現状について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	11	社会的養護にかかわる専門職 〈予習〉施設保育士に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	12	社会的養護に関する社会的状況 〈予習〉「新しい社会的養育ビジョン」に関する情報を整理する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	13	施設等の運営管理の現状と課題 〈予習〉社会的養護の施設等に関する情報を整理する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	14	被措置児童等の虐待防止の現状と課題 〈予習〉情緒障害児短期治療施設等の情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	15	社会的養護と地域福祉の現状と課題 〈予習〉地域福祉に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	保育・教職論			教員名	野口　一夫		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育者論〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応含む)〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)　今求められる資質・能力　幼保連携型認定こども園						
授業の概要	保育者としての専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な保育士・幼稚園教諭・保育教諭の養成とその基礎となる役割や資格、そして資質・能力のあり方、組織とリーダーシップを習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育士や幼稚園教諭を目指すために、保育者とは何か、今保育者に求められている資質や能力は何か、そしてその職務の内容等について、関連法規等を踏まえて検証することができる。 【到達目標】 保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭)に対する意識を高め、その違いや共通点を明らかにし、さらに保育者としての専門性の高揚を図り、連携・協働の重要性を理解することができる。						
授業の方法等	わかりやすく理解するため、「聞く」「書く」「質問」「演示」等のメリハリを工夫し、保育所・幼稚園・施設等を取り巻く国の動向や公務員試験の現状等をリアルタイムに提供						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	不使用						
参考書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館、「保育者論」建帛社						
関連科目	保育原理　教育原理						
質問受付の方法	担当教員　随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出　レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意						

授業計画と時間外学習		
	1	「保育」のもつ意味 ～先人にみる「子ども観」 幼保連携型認定こども園 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10 〈予習〉先人の「子ども観」について調査。 90分 〈復習〉幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10の理解。 90分
	2	保育士と幼稚園教諭の違い ～本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ。 90分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態。 90分
	3	保育者の要件・地位 ～T(時)P(場所)O(場合)　江戸しぐさ 〈予習〉T(時)P(場所)O(場合)調べ。 90分 〈復習〉「江戸しぐさ」に学ぶ。 90分
	4	保育者としての免許・資格 ～職業病 〈予習〉免許・資格調べ。 90分 〈復習〉「幼保連携型認定こども園」への就職にあたって。 90分
	5	保育士の専門性と役割 ～保育の基本と役割　省察とは 〈予習〉省察とは。 90分 〈復習〉施設保育士とは。 90分
	6	幼稚園教諭の専門性と役割 ～地方公務員法(服務　欠格事由等) 〈予習〉地方公務員法を調査。 90分 〈復習〉実習に際し、幼稚園、保育園の一日を学ぶ。 90分
	7	保育士・幼稚園教諭の職務の具体的な内容 ～5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) 〈予習〉5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の調査。 90分 〈復習〉勤務体制を学ぶ。 90分
	8	最近の乳幼児・児童の傾向 ～LD、ADHD、アスペルガー症候群等 〈予習〉LD、ADHD、アスペルガー症候群等の調査。 90分 〈復習〉症状と対処の仕方を学ぶ。 90分
	9	様々な保育課題と対応の在り方1 ～夜尿症、じょうずなほめ方・しかり方等 〈予習〉症状の理解。 90分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ。 90分
	10	様々な保育課題と対応の在り方2 ～しつけ、虐待、放任、過保護等 〈予習〉症状の理解。 90分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ。 90分
	11	今求められる理想の保育者像 ～都市化、少子化、核家族化等 〈予習〉それぞれの実情調べ。 90分 〈復習〉その対応。 90分
	12	今、保育者に求められる資質・能力 ～組織に馴染む　園長・主任等のリーダーシップ 〈予習〉組織の調査。 90分 〈復習〉組織に馴染む　園長・主任等のリーダーシップの考察。 90分
	13	保育所・幼稚園と家庭の役割 ～ドロシー・ロー・ノルト 〈予習〉ドロシー・ロー・ノルト調査。 90分 〈復習〉保育所・幼稚園と家庭の役割の理解。 90分
	14	適性の理解と進路選択 ～保育士養成においてのキャリアパス、キャリア教育 〈予習〉公務員試験に見る傾向。 90分 〈復習〉国や県の社会福祉事業団への理解。 90分
	15	公務員等試験(埼玉・東京・社会福祉事業団等)にみる昨今の就職状況 ～論作文の書き方 〈予習〉全学習の振り返り。 90分 〈復習〉論作文の書き方の理解。 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

保育の対象の理解に関する科目

授業科目名	保育の心理学 ＊			教員名	山村 穂高/今村 麻子		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業･免許･資格との関係	◎卒業必修 ○保育士資格必修〔保育の心理学〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目/教育に関する社会的、制度的又は経営的 事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	子どもの発達理解、発達と保育実践、子ども観・保育観						
授業の概要	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解する。子どもが自ら発達しようとする心理について理解し、それを捉えて支援する環境づくりや保育実践を考察する。現場経験のある教員が発達段階に応じた映像や事例を示しながら授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの発達に関わる心理学の基礎を知り、子ども理解を深め、初期経験の重要性を理解する。発達に応じた支援について考察する。 【到達目標】 子どもの発達過程、現代の子どもの発達支援の実践と課題について基礎的なことを理解し説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当する。 テキストに沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていく。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「子どもとかかわる人のための心理学」 沼山博 三浦主博 編著 萌文書林 2,000円＋税						
参考書	授業中に適宜紹介する。						
関連科目	乳児保育Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、子育て支援、教育相談						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付ける。						
履修上の注意							

授業計画と時間外学習	1	発達を踏まえた主体的学習及びそれを支える指導の基礎について〔担当:山村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	2	幼児、児童及び生徒の学習に関する理論について〔担当:山村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	3	子どもの発達理解①(言葉のはじまり)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	4	子どもの発達理解②(愛着、自己と他者)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	5	子どもの発達理解③(自己抑制と自己主張)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	6	子どもの発達理解④(心の理論)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	7	子どもの発達理解⑤(遊びの変化)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	8	子どもの発達に応じた保育援助①(乳児)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	9	子どもの発達に応じた保育援助②(幼児)〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	10	異年齢集団による保育実践 〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	11	子どものアニミズム 〔担当:今村〕〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	12	子どもの想像力とは 〔担当:今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	13	発達に支援を必要とする子ども 〔担当:山村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	14	生涯発達と生きる力の生成 〔担当:山村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
	15	現代社会に育つ子どもの発達と支援 〔担当:山村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	子どもの保健			教員名	田中　直代		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの保健〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	母子健康手帳、養護、スキャモン、パーセンタイル値、はしか、予防接種、たばこ、IgE、川崎病、集団生活前健診、ネグレクト						
授業の概要	子どもの保健は子どもの身体の健康を維持し、増進することを目的とした実践活動である。子どもは日々発育・発達しているが、先天的条件、養育や環境の条件を受けやすい。子どもが順調な発育・発達をし、支障のない生活を送るためには大人や社会の適切な対応が必要となる。子どもの将来の健康状態を予測し、自立して健康に過ごせるよう保健的働きかけの重要性を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎になる。子どもの心身の健康と保健の意義を理解し、身体発育、生理機能・運動機能の発達について学ぶ。子どもの健康状態を観察し、不調の早期発見に努め、子どもの病気や救急疾患、事故、アレルギーについて適切な予防法や危機管理、健康管理の必要性を理解する。一人一人の発育・発達を把握し保護者、他職種と情報共有することが重要であることを理解するために学ぶ。 【到達目標】 1子どもの心身の保健活動の意義を理解する。 2.スキャモンの器官別発育曲線について説明できる。 3.子どもの心身の健康状態の把握すべき項目を挙げることができる。 4.子どもの救急疾患の特徴とその対応を挙げることができる。 5.子どもの免疫の発達と感染症の特徴を挙げることができる。 6.保健活動が他職種間の連携・協働の下での適切な対応が重用であることに気づく。						
授業の方法等	・パワーポイントのスライドと配布プリントによる講義形式です。 ・テキストを中心に行います。子どもに関する医療や保健のニュースも取り入れます。 ・説明に物や図・表を使います。図・表の説明に色鉛筆があると理解が深まります。 ・小テストがあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕90% ■授業への取り組み・態度(ファイルノート点検) 10% ※出席は教科書、ファイルを確認する						
教科書	「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」小林美由紀編著　診断と治療社　2018年　2,000円+税						
参考書	「子どもの病気の地図帳」鴨下重彦・柳沢正義監修　講談社　2012年　4,000円+税 「子どもの保健演習ブック」松本峰雄監修　ミネルヴァ書房　2017年　2,200円+税						
関連科目	「子どもの健康と安全」						
質問受付の方法	授業中、講義前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので、遅刻・欠席等をしないこと。教科書とノートを随時使用。配布したプリントはA4判2穴ファイルに学習ノートとして整理すること。子どもの健康と安全の学習に使用。						

授業計画と時間外学習	1	子どもの保健と健康の意義　(1)保健活動の意義と目的 〈予習〉P1「子どもの保健とは」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	2	子どもの保健と健康の意義　(2)子どもの出生と母子保健の意義 〈予習〉P18「母子健康手帳の歴史」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	3	子どもの保健と健康の意義　(3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題 〈予習〉P21図1「出生数および合計特殊出生率の年次推移」からわかることを見出す。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	4	子どもの発育・発達と保健　(1)子どもの身体発育 〈予習〉P28「乳幼児の身体計測の仕方」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	5	子どもの発育・発達と保健　(2)子どもの運動機能の発達 〈予習〉P36「新生児の原始反射」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	6	子どもの発育・発達と保健　(3)生理機能の発達と生活習慣 〈予習〉P48「生活習慣の時代変化」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	7	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握 〈予習〉P60「子どもの健康状態の把握」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	8	子どもの病気　(1)子どもの免疫の発達と感染症の特徴 〈予習〉P71「感染症の歴史」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	9	子どもの病気　(2)感染症の予防および適切な対応 〈予習〉P74「感染経路と対策」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	10	子どもの病気　(3)救急疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P85表1「年度別・家庭用品等における誤飲事故述べ報告件数」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	11	子どもの病気　(4)新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応 〈予習〉P38「低出生体重児の発育」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	12	子どもの病気　(5)アレルギー疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P100「食物アレルギーと離乳食開始の変遷」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	13	子どもの病気　(6)慢性疾患の特徴と適切な対応 〈予習〉P106「子どもの慢性疾患とは」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	14	子どもの発育・発達の把握と保護者との情報共有 〈予習〉P123「障害児や慢性疾患児への子ども同士の理解」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
	15	地域における保健活動と子どもの虐待防止 〈予習〉P51「地域における保健活動」「テスト問題」を読む。 90分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

保育の内容・方法に関する科目

授業科目名	保育内容健康			教員名	新井　英人		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /領域に関する専門的事項・健康〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	領域　健康						
授業の概要	領域「健康」について、乳幼児を取り巻く社会的状況や教育的課題を踏まえた上で、指導に必要となる基礎的知識や基礎的技能を身に付ける。具体的には、乳幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において乳幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」の指導の基盤となる、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識や技能を身に付けることができる。 【到達目標】 （1）乳幼児期の健康課題と健康の発達的意味を理解する。 （2）乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。 （3）安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。 （4）乳幼児期の運動発達の特徴や意義を理解する。						
授業の方法等	講義と演習を合わせて行う。 できるだけ具体的な事例を提示し、理解を深めていく。授業内においてレポートの提出や小テストを実施する。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「演習　保育内容　健康」萌林書院						
参考書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
関連科目	保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉、保育内容表現、健康と人間関係の指導法						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応する。						
履修上の注意	講義の記録、配付した印刷物等はA4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画と時間外学習		
	1	健康の定義と乳幼児期の健康の意義 〈予習〉シラバスの熟読、教科書第1章を読む。 45分 〈復習〉第1章を復習し、健康の定義について整理する。 45分
	2	乳幼児期の身体にかかわる発達 〈予習〉教科書第2章を読む。 45分 〈復習〉第2章を復習し、健康な子ども、元気な子どもの姿を整理する。 45分
	3	乳幼児期の健康課題（乳幼児を取り巻く生活環境と健康） 〈予習〉教科書第3章を読む。 45分 〈復習〉第3章を復習し、乳幼児期の健康課題について整理する。 45分
	4	乳幼児期の生活習慣の形成①（生活リズムの形成とその意義） 〈予習〉教科書4章を読む。 45分 〈復習〉第3章を復習し、生活リズムの形成とその意義について整理する。 45分
	5	乳幼児期の情緒・社会性にかかわる発達 〈予習〉教科書第5・6章を読む。 45分 〈復習〉第6章を復習し、情緒・社会性にかかわる発達について整理する。 45分
	6	乳幼児期の感覚器官にかかわる発達 〈予習〉教科書第7章を読む。 45分 〈復習〉第7章を復習し、感覚器官にかかわる発達について整理する。 45分
	7	乳幼児期の運動発達の特徴 〈予習〉教科書第8章1・2・3を読む。 45分 〈復習〉第8章1・2・3を復習し、運動発達の特徴を整理する。 45分
	8	日常生活における運動 〈予習〉教科書第8章4・5及び第9章を読む。 45分 〈復習〉第8章4・5及び第9章を復習し、運動発達の保障について整理する。 45分
	9	乳幼児期の生活習慣の形成②（生活習慣の獲得） 〈予習〉教科書第10章を読む。 45分 〈復習〉第10章を復習し、生活習慣の獲得について整理する。 45分
	10	幼児の安全教育と危険①（安全教育と安全管理） 〈予習〉教科書第11章1・2を読む。 45分 〈復習〉第11章1・2を復習し、安全教育と安全管理について整理する。 45分
	11	幼児の安全教育と危険②（幼児期の怪我や事故の特徴と応急措置・病気の予防） 〈予習〉教科書第11章3・4を読む。 45分 〈復習〉第11章3・4を復習し、怪我や事故の特徴について整理する。 45分
	12	幼児の安全教育と危険③（リスクの見極めとハザードの除去） 〈予習〉教科書第12章を読む。 45分 〈復習〉第12章を復習し、リスクの見極めとハザードの除去について整理する。 45分
	13	遊びとしての運動 〈予習〉教科書第13章を読む。 45分 〈復習〉第13章を復習し、遊びについて整理する。 45分
	14	子どもの健康を支える協働 〈予習〉教科書第14章を読む。 45分 〈復習〉第14章を復習し、子どもの健康を支える協働について整理する。 45分
	15	保育内容・健康のまとめ 〈予習〉教科書第15章を読む。 45分 〈復習〉第15章を復習し、配布プリントを完全に仕上げる。 45分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績発表時にレポートにコメントを入れて返却 〕	

授業科目名	保育内容人間関係			教員名	室井　佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /領域に関する専門的事項･人間関係〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	領域　人間関係　幼児の人と関わる力の育ち　就学前教育　発達						
授業の概要	領域「人間関係」について学問的な背景や基盤となる考え方を学びます。人間関係の専門的視点を、より幅広く、より深く考えることを目指します。また、養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれ関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を習得します。就学前教育において、「何をどのように指導するか」という視点で、「何を」にあたる部分であり、主体的・対話的で深い学びから領域「人間関係」における専門的知識・技能を修得し子ども理解を深めます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「人間関係」の指導の基盤となる、乳幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項について、知識と技能を身に付けることができる。 【到達目標】 (1)乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を具体例を挙げながら理解できる。 (2)乳幼児期の人間関係の発達について、幼稚園・保育所・認定こども園生活の関係発達論的視点から理解し、概説できる。 (3)養護と教育において「人間関係」と五領域との関連性や相互性を具体的例を挙げながら理解できる。						
授業の方法等	講義と演習を合わせて行います。 視聴覚教材や事例を活用し、アクティブラーニングの手法を用いることもあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館、 「〈領域〉人間関係ワークブック」萌文書林						
参考書	適宜、必要な資料を配付します。						
関連科目	保育内容健康、保育内容環境、保育内容言葉、保育内容表現、健康と人間関係の指導法						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室で受け付けます。						
履修上の注意	配付した資料は丁寧に整理、保存してください。なお、保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）は1つのファイルに一貫して保存することを勧めます。授業の実施場所、準備物、服装については、事前の指示をよく聞いてください。						

授業計画と時間外学習	1	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴と社会的背景 〈予習〉初回のため、なし。 〈復習〉教科書の指定したページを読む。 90分
	2	人と関わる力と生涯発達 〈予習〉自分の家族を観察する。 45分 〈復習〉第2回で配付した資料を読む。 45分
	3	乳児期の人と関わる力の発達 〈予習〉自分の友だちを観察する。 45分 〈復習〉第3回で配付した資料を読む。 45分
	4	子どもの健康、安全、快適を求めた養護の実際と育まれる人間関係 〈予習〉大学内の教職員を観察する。 45分 〈復習〉第4回で配付した資料を読む。 45分
	5	子どもの安心感、安定感を満たす養護の実際と育まれる人間関係 〈予習〉0・1・2歳の子どもを観察する。 45分 〈復習〉第5回で配付した資料を読む。 45分
	6	幼児期の人と関わる力の発達①（遊び・生活における教師との関係） 〈予習〉3・4・5歳の子どもを観察する。 45分 〈復習〉第6回で配付した資料を読む。 45分
	7	幼児期の人と関わる力の発達②（遊び・生活における子ども同士の関係） 〈予習〉0・1・2歳の子どもと親を観察する。 45分 〈復習〉第7回で配付した資料を読む。 45分
	8	幼児期の人と関わる力の発達③（遊び・生活における集団の中での育ち） 〈予習〉3・4・5歳の子どもと親を観察する。 45分 〈復習〉第8回で配付した資料を読む。 45分
	9	自立心の育ちと発達の姿の実際 〈予習〉教科書の指定したページを読む。 20分 〈復習〉自立心の育つ事例を考える。 90分
	10	協同性の育ちと発達の姿の実際 〈予習〉教科書の指定したページを読む。 20分 〈復習〉協同性の育つ事例を考える。 70分
	11	道徳性・規範意識の芽生えと発達の姿の実際 〈予習〉教科書の指定したページを読む。 20分 〈復習〉道徳性・規範意識の芽生えが育つ事例を考える。 70分
	12	家庭や地域との関わりと育ちに関する発達の姿の実際 〈予習〉土日の公園で観察する。 45分 〈復習〉第12回の配付した資料を読む。 45分
	13	領域の相互性、関連性と人間関係 〈予習〉教科書の指定したページを読む。 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。 45分
	14	人間関係の指導法に向けて指導案を加味した保育活動の実際 〈予習〉第13回で配付した資料を読む。 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む。 45分
	15	保育内容　人間関係のまとめ 〈予習〉第14回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績発表時にコメントを入れ返却します 〕	

授業科目名	保育内容環境			教員名	野口　一夫		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /領域に関する専門的事項・環境〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	環境　幼保小との接続・連携　環境との出会い						
授業の概要	「領域『環境』とは」環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、乳幼児を取り巻く環境と、乳幼児の発達にとっての意義を理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児を取り巻くさまざまな環境や乳幼児と環境の関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付けることができる。 【到達目標】 環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、身近な環境との関わりを具体的な生活事例（製作・遊ぶ活動 ）を通して体験的に学び、実践できるようにする。						
授業の方法等	演習と講義を合わせて行う。 環境を、広い意味や保育内容「環境」としての意味を理解し、具体的な体験・経験のなかで身に付けていく。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
参考書	生活事例からはじめる保育内容「環境」青踏社　「教育・保育と環境」野口一夫著						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容言葉、保育内容表現、環境の指導法 保育・教職論、保育原理						
質問受付の方法	担当教員　随時						
履修上の注意	レポートは毎回提出　レポート等の資料を整理・保存する「A4版ファイル」を用意						

授業計画と時間外学習	1	環境とは　領域「環境」 レイチェル・カーソン 〈予習〉レイチェル・カーソンについて調査。 45分 〈復習〉領域「環境」の概要理解。 45分
	2	環境を通して行う教育・保育の基本 〈予習〉教育・保育の基本調べ。 45分 〈復習〉教育・保育の基本の理解。 45分
	3	領域「環境」のねらいと内容 「幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 〈予習〉改訂教育要領・保育指針・認定こども園教育・保育要領しらべ。 45分 〈復習〉ねらいと内容の理解。 45分
	4	身近な環境の構成　人的・物的・自然・社会 〈予習〉身近な環境とは何かを調査。 45分 〈復習〉身近な環境への理解。 45分
	5	さまざまな環境との出会い①　季節との出会い　春・夏 〈予習〉春・夏の学内の動植物調査。 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習。 45分
	6	さまざまな環境との出会い②　身近な草花との出会い　チューリップ・タンポポ等 〈予習〉家の周囲の野草調べ。 45分 〈復習〉ファーム周辺の野草調べ。 45分
	7	さまざまな環境との出会い③　野菜の栽培　ナス・ミニトマト・ピーマン・サツマイモ等 〈予習〉身近な野菜の花と実調べ。 45分 〈復習〉成長の観察。 45分
	8	さまざまな環境との出会い④　野菜の栽培　ナス・ミニトマト・ピーマン・サツマイモ等 〈予習〉その後の成長。 45分 〈復習〉わき目・除草・追肥等の効果的なやり方。 45分
	9	さまざまな環境との出会い⑤　季節との出会い　秋・冬 〈予習〉秋・冬の学内の動植物調査。 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習　。 45分
	10	さまざまな環境との出会い⑥　動物（虫・鳥等） 〈予習〉学内に棲むセミ・バッタ・シジュウカラ等の調査。 45分 〈復習〉それぞれの特徴調べ。 45分
	11	さまざまな環境との出会い⑦　遊び（自然・おもちゃ・昔の遊び等） 〈予習〉昔の遊び調べ。 45分 〈復習〉自然・おもちゃ・昔の遊び等の再実践。 45分
	12	保育内容「環境」の計画・評価と課題 〈予習〉保育内容「環境」の計画。 45分 〈復習〉評価と課題。 45分
	13	小学校との接続・連携　生活科とのつながり　幼保小の連携 〈予習〉教育要領や保育指針から見られる連携。 45分 〈復習〉幼保小の連携の重要性の理解。 45分
	14	安全のための環境　事故・災害・不審者等 〈予習〉安全のための環境調べ。 45分 〈復習〉事故・災害・不審者等への対応。 45分
	15	振り返り 〈予習〉今までの学習の振り返り。 45分 〈復習〉総復習。 45分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	保育内容言葉			教員名	相沢　和恵		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /領域に関する専門的事項･言葉〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	5領域「言葉」 保育内容　言葉の獲得　ことば遊び　児童文化財　文字						
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現法を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を学ぶ。「言葉」の意義と機能について理解し、乳幼児の言葉を育て、言葉に対する感覚を豊かにする保育教材を学び実践力を身に付ける。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の姿から言葉の意義や機能について考え、言葉を育て想像する楽しさを広げる児童文化財について学ぶ。 【到達目標】 乳幼児の言葉の発達過程について、言葉の機能への気付きも含めて説明できる。乳幼児の発達における児童文化財の意義について理解する。						
授業の方法等	演習・講義を合わせて行います。 児童文化財の理解については、実習・模擬保育も取り入れレポート等にまとめます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕40% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 30%						
教科書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館、 「新訂 事例で学ぶ保育内容 領域【言葉】」無藤隆、監修　宮里朱実、編　萌文書林						
参考書	必要に応じて紹介します						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容表現 保育内容総論、言葉と表現の指導法、教育原理、保育・教職論、特別支援教育						
質問受付の方法	担当へ随時受け付けます						
履修上の注意	プリント類はA4版2穴ファイルに整理、保存します						

授業計画と時間外学習	1	保育内容「言葉」とは何か　乳幼児期の言葉のおもしろさ 〈予習〉予定授業内容の該当箇所教科書を読む 45分 〈復習〉次回授業該当ページを読んでおく　45分
	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容「言葉」 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	3	子どもは言葉をどのように獲得するのか　1 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	4	子どもは言葉をどのように獲得するのか　2 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	5	言葉に関する感覚　遊びの中の豊かな言葉　模倣、見立て 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	6	言葉に関する感覚　遊びの中の豊かな言葉　クラスみんなで行う活動から 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	7	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方　1 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	8	ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方　2 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	9	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の意義 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	10	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実際 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	11	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実践 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	12	文字に対する興味、関心をもつ経験 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	13	言葉の遅れがある子どもと保育内容 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	14	保育界の動向と「言葉」をめぐる今日的課題 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	15	保育内容「言葉」 5領域との関係　まとめ 〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉定期試験、レポートの該当プリントと該当ページ教科書を読む 45分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績配付日等にコメント追記したものを返却 〕	

授業科目名	保育内容表現			教員名	鴨志田　加奈		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容演習〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /領域に関する専門的事項･表現〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	表現　感性　創造性　コミュニケーション　遊び						
授業の概要	保育内容領域「表現」に関して、乳幼児の表現やその過程について理解するとともに、乳幼児の感性や創造性を豊かに育む遊びや環境構成について学ぶ。また、表現について根源的に学ぶこと、自身の体験を通して経験することによって保育者としての感性を磨く。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の生活や遊びの中にある表現やその意義について理解し、また表現全般について広く体験的に学びながら自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。 【到達目標】 (1)領域「表現」の概要を理解する。 (2)乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。 (3)自身の感性や表現力を磨く。 (4)他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。 (5)基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。						
授業の方法等	体験的な学びを中心に演習を行い、ワークシートを活用し学びの省察・自己評価を行いながら学び進める。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法及びICTを積極的に用いる。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕30% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物（ポートフォリオなどを含む） 40%						
教科書	「保育内容　領域　表現　日々わくわくを生きる子どもの表現」堂本真実子　（株）わかば社　1,800円（税別） 「あそびから学びが生まれる動的環境デザイン」大豆生田啓友　株式会社学研教育みらい　2,800円（税別）						
参考書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉 言葉と表現の指導法、造形表現の探求、音楽表現の探求、図画工作、音楽、ナチュラルアート、ダンスムーブメント						
質問受付の方法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授業計画と時間外学習	1	領域「表現」のねらい及び内容 「現れ」と「表し」をキーワードに 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	2	表現の根源を考える　～古今東西の表現の歴史や文化について～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	3	自然と感性　～五感を通して自然を感じる～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	4	自然とイメージ　～イメージを形にすることを楽しみ、幼児の表現活動に展開する可能性を探る～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	5	生活の中のイメージ　～日常にある小さな感動や、気づきを共有し様々な方法で表現しあい楽しむ～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	6	モノとイメージ　～身近にある素材に触れ、それを生かした表現遊びに展開する可能性を探る～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	7	空間とイメージ　～空間の特性が感性や表現に及ぼす影響について体験的に学ぶ～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	8	ﾊﾞｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝとﾉﾝﾊﾞｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ　～表現とは応答的な関係の元に成立する～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	9	物語とイメージ　～絵本などの物語から広がるイメージを生かした遊び～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	10	豊かな表現とは何か　～表現の根本となる内言について理解を深める～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	11	他者との創造と協働１　～朗読劇などの台本などを元に演劇的表現を楽しむ～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	12	他者との創造と協働２　～他者とイメージを共有し、シーンを再構成する面白さと難しさを経験する～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	13	ICTの活用１　～ICTを活用した表現活動・制作～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	14	ICTの活用２　～ICTを活用した表現活動・発表～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	15	ICTの活用３　～ICTを活用した表現活動・省察～ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績発表時にコメントを入れ返却します 〕	

授業科目名	音楽			教員名	福泉 博子/数野 麻衣子 大導寺 俊平/福士 紗希/町田 百合絵 中川 悠子/宮尾 夕華		
配当年次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	音あそび　歌唱　こどものうた ピアノ 弾き歌い 楽典 ソルフェージュ						
授業の概要	保育者として必要となる音楽の基礎的な知識、技能の理解と習得を目指します。そのため。楽典や歌唱法、ソルフェージュに関する授業を前期に、ピアノや弾き歌いなどの個人レッスンを後期の授業で実施し、音楽全般について総合的に学習します。 また、本学の自然環境を生かした音遊びの中で五感と想像力を養います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1）幼稚園や保育所などで歌う「こども・幼児のうた」の特性を学び、ピアノで弾き歌いをしながら幼児の指導ができる力を身につけます。 2）自然や生活の中にある音を感じ、声や身体、楽器、身近にあるものを使って音楽を奏でる方法を習得します。また、それらの方法を用いて、こどもの発達に合わせた活動が出来るようにします。 【到達目標】 〈前期〉では基本的な音楽の知識を学び、一人で読譜ができるようにします。 ・自然や生活の中にある音を感じとることができる。 ・声や身体、楽器、生活の中にあるものを使って、自由に音楽を創作する完成を身につけることができる。 〈後期〉ではピアノ・弾き歌い進度表の応用Ⅱまで、中級者はソナチネアルバムⅠやブルグミュラー、上級者はソナタアルバムや同レベルのピアノ曲が弾けるようにすることを目標とします。 ・生活のうた、季節のうたなどを通して、こどもの心に伝わる歌い方ができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分（後期）を除く、通年29回の演習授業を行います。 〈前期〉は各グループを未経験者と経験者の2グループに分け、2名の教員で授業を行います。生活のうたや季節のうたなどの弾き歌いや、楽典に関する授業を行います。また、入学前課題で配付した楽譜プリント集の「ピアノ・弾きうたい進度表」に沿ってすすめていきます。 〈後期〉はピアノの個人レッスンを行います。各グループ5名の教員が担当し、個々のレベルにあったレッスンを行います。 定期試験の前期は楽典の筆記試験、後期は発表会形式でピアノと弾き歌いの実技試験を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 前期:筆記 / 後期:実技（ピアノ演奏40%･弾き歌い40%）〕各期80% ■授業への取り組み・態度　各期 20% ※前期と後期の平均。						
教科書	全員購入 「こどものうた 100」（チャイルド本社）「ジュニアクラスの楽典問題集」（ドレミ楽譜出版社） 「全訳(標準)バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社) ※各自の進度に応じた教則本を指示します。 楽器（オカリナ） ※購入方法は授業時に指示します。						
参考書	保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集。 具体的には、授業時に各自の進度に合わせて担当教員より指示します。 やまたんテキストvol.4　2019年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表(山村短大オリジナル）						
関連科目	ピアノA　ピアノB　　音楽表現の探究						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 配付プリントはA4ノートに貼り、整理しておきましょう。後期には【2019年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表】を必ず持参してください。 ピアノレッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意しましょう。 教材としてオカリナを購入してもらいます。詳細は授業で伝えます。						

授業計画と時間外学習				
	1	オリエンテーション 授業内容の説明 音さがしⅠ 〈予習〉シラバスの内容確認 10分 〈復習〉音さがしの配付しプリントのまとめ 35分	16	オリエンテーション(目標 内容 授業形式の説明） 〈予習〉シラバスの内容確認 10分 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	2	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅰ 音さがしⅡ　弾き歌い「あさのうた」 〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題集の「音名」を解く35分 「あさのうた」 片手ずつ 毎日15分程度	17	17～28回は、 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン
	3	音名 ト音・ヘ音記号の理解Ⅱ（ドレミパイプを使って） 弾きうたい「あさのうた」 〈予習〉あさの歌片手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉配付プリント問題 30分	18	【初級者の教則本(バイエル)及び学習事項】 ピアノ進度表 基礎Ⅱ 新しい調とその音階 基礎Ⅲ 複合問題 応用Ⅰ 曲の構成の把握と転調を含む曲 応用Ⅱ 総復習
	4	譜表・音符・休符の理解　弾き歌い「おべんとう」 〈予習〉あさの歌両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉楽典問題集の「音符・休符」を解く 30分	19	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	5	譜表・音符・休符の理解　弾き歌い「おべんとう」 〈予習〉おべんとう片手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉配付プリント問題 30分	20	
	6	拍子とリズムの理解　弾き歌い「おかえりのうた」 〈予習〉おべんとう両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉楽典問題集の「拍子とリズム」を解く75分	21	【中級者の教則本】 ピアノ進度表 ソナチネアルバムⅠ ブルグミュラー 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	7	拍子とリズムの理解　弾き歌い「おかえりのうた」 〈予習〉おかえりのうた片手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉配付プリント問題 30分	22	
	8	幹音と派生音 変化記号の理解 弾き歌い 「さよならのうた」　・ 手作り楽器を作ろう 〈予習〉おかえりのうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉問題集の「幹音・派生音・変化記号」を解く 30分	23	【上級者の教則本】 ピアノ進度表 ソナタアルバム、ブルグミュラー、他 弾き歌い（生活、行事、季節、子どものうた、テレビ・アニメのうた） 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	9	調号と臨時記号　・ 手作り楽器で遊ぼう 〈予習〉さよならのうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉問題集の「調号と臨時記号」を解く 30分	24	
	10	反復記号・省略記号　・オカリナを作ろう 〈予習〉生活のうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉問題集の「反復記号・省略記号」を解く 30分	25	
	11	強弱 速度 発想記号　・オカリナを吹こう 〈予習〉生活のうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉問題集の「強弱・速度・発想記号」を解く 30分	26	
	12	音階 調性　発声法Ⅰ　弾き歌い 生活のうた 季節の歌を描こうⅠ 〈予習〉季節のうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉問題集の「音階・調整」を解く 30分	27	
	13	和音　発声法Ⅱ　弾き歌い 季節のうた 季節の歌を描こうⅡ 〈予習〉季節のうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉配付プリントの仕上げ 30分	28	
	14	コードネーム　弾き歌い こどものうた 〈予習〉こどものうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉配付楽譜にコードをつける 30分	29	実技試験　リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 30分 試験曲の練習(歌唱練習含） 毎日15分程度
	15	伴奏法　授業内容の振り返り 〈予習〉こどものうた両手・歌唱練習 毎日15分 〈復習〉楽典のまとめのプリントを解く 30分		
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説 〕30分		◆定期試験〔 実技 〕75分 ◆振り返り・フィードバック〔 試験の講評 〕15分	

授業科目名	図画工作			教員名	橋本　夏夫		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	「基礎的な技法の習得」「身近な素材を使う」「身近な素材の特性を知る」「ゆっくり丁寧に制作する」						
授業の概要	さまざまな描画や制作を実践して、道具や材料の基礎的な扱い方を身につけます。描くことや作ることの楽しさを体験しながら、制作することへの理解を深めます。さらに制作することの楽しさを子どもに伝えられる力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 基礎的な図画工作の技法を習得する。身近にあるものを使って作ることの楽しみを体験し、作ることに対する理解を深める。ゆっくりと丁寧に制作することができるようになる。 【到達目標】 多くの技法を身に付けることによって、表現力の幅を広げ制作に自分なりの工夫を凝らせるようになる。将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられるようになる。						
授業の方法等	実技を主体とした授業です。毎回新しい技法で授業展開しますので出席が大切です。毎回の授業内容を作品とともにスケッチブックにまとめて学期末に提出があります。やまたんテキスト効果測定(図画工作)を2回以上実施します。入学前課題の折り紙も制作します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕25% ■作品提出・配付プリントをまとめ、添付したスケッチブックの提出 50% ■授業へ取り組む姿勢と制作への態度 25%						
教科書	毎回プリントを配付する。講義には別途講義用プリントを配付する。						
参考書	「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「やまたんテキストQ＆A Vol.3」						
関連科目	造形表現の探究・子ども文化演習B（クリスマス会）						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。 2.積極的な姿勢で授業に関わること。 3.毎回の授業時に配付するプリントは、各自が注意点を記入し完成させファイルとし、図画工作スケッチブックの巻末に添付すること						

授業計画と時間外学習	1	ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ・授業内容の説明 実技:ﾌﾛｯﾀｰｼﾞｭとｺﾗｰｼﾞｭ(こすりだし技法を通して表現の楽しさを味わう) 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	2	デカルコマニー・糸引き版画(簡単な技法で偶然に出来た、色や形を楽しむ) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	3	バチック・スクラッチ(クレヨンと絵の具の性質を知り、応用して制作する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	4	ステンシル・スパッタリング(多様な技法を知り、応用して制作する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	5	染め紙・マーブリング(多様な技法を知り、応用して制作する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	6	スタンピング・ローリング・ドリッピング(多様な技法を知り、応用して制作する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	7	張子の帽子制作・ﾃﾞｻﾞｲﾝの決定と下地の制作(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	8	張子の帽子制作(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	9	張子の帽子制作・仕上げ作業(ゆっくりと丁寧に一つの作品を制作することを体験する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	10	簡単ウチワ制作(これまでに学んだ、基礎実技を応用して制作する) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	11	カード制作(簡単な工夫で平面から立体を立ち上げることを知り、表現の幅をひろげる) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	12	折り紙をつなげて遊ぶ・紙と澱粉糊とハサミを使った表現(ハサミの使い方・糊付けの方法を知る。) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	13	ﾄﾞｰﾅｯﾂふたつ・おいしいものを描こう(興味あるものを題材とした描画・クレヨンと水性絵の具の使い方) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	14	ぶんぶんゴマと登り人形(簡単な仕掛けの動くおもちゃ1.)・やまたんテキスト図画工作の実施1. 〈予習〉Yテキスト図画工作の暗記・事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	15	体操人形とトコトコ馬の制作(簡単な仕掛けの動くおもちゃ2.)・やまたんテキスト図画工作の実施2. 〈予習〉Yテキスト図画工作の暗記・事前に配付するプリントで内容確認する。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆フィードバック・振り返り〔定期試験の解説、講義用プリントを基に自己点検する 〕30分	

授業科目名	幼児体育			教員名	鴨志田　加奈		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育内容の理解と方法〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	健康、運動、発達、遊び、遊び環境						
授業の概要	乳幼児の運動遊びの意義を理解し、様々な運動遊びの援助法等について体験的に学ぶ。自分自身の身体性や表現力を高める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児の運動遊びについての専門的知識・技能を身につける。また、自身の身体性、表現力が及ぼす影響について考えることで、保育者及び社会人としての基本的姿勢を身につける。 【到達目標】 ①乳幼児の運動あそびの意義について説明することができる。②様々な運動あそびを実践することができる。③発達段階にあった援助、安全管理等、適切な配慮について主体的に考えることができる。④乳幼児を取り巻く現代的課題や、遊び環境の重要性について主体的に考えることができる。⑤自らの身体性や表現力向上に対して積極的に努力することができる。						
授業の方法等	乳幼児の運動遊びの方法や環境構成について具体的な体験・経験のなかで身に付けていく。ポートフォリオを活用し学びの省察・自己評価を行いながら学び進める。視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法を積極的に用いる。入学前課題の子どもの感性についての発表も行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 実技 〕20% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物（ポートフォリオを含む） 40%						
教科書	「楽しく学ぶ運動遊びのすすめーポートフォリオを活用した保育実践力の探求」柴田卓・石森真由子 編　株式会社みらい　1,300円＋税						
参考書	「幼児期運動指針ガイドブック」文部科学省　1,300円＋税						
関連科目	保育内容健康・保育内容表現・健康と人間関係の指導法・言葉と表現の指導法・子どもの保健Ⅰ・Ⅱ・乳児保育Ⅰ・Ⅱ・ダンスムーブメント						
質問受付の方法	適宜、研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	1.運動できる服装で臨むこと。2.内履き、外履きをロッカーに準備すること。3..授業実施場所の変更や準備物等については教員の指示や掲示板等などに注意すること。						

授業計画と時間外学習		
	1	運動遊びの意義を考える 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	2	子どもの発達と運動を考える①発育・発達と運動 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	3	子どもの発達と運動を考える②動きの発達・習得・洗練・多様化 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	4	動きの種類と運動遊び①運動遊びの面白さ、グループ遊びと伝承遊びの特徴とねらい 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	5	動きの種類と運動遊び②年齢に応じた運動遊び 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	6	動きの種類と運動遊び③運動遊びの環境作り、運動遊びで人気の道具・使えるアイテム 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	7	楽しく遊ぶための技とコツ①運動遊びを楽しむために 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	8	楽しく遊ぶための技とコツ②動きを伝えるおもしろさと難しさ、運動遊びの雰囲気作り 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	9	運動遊びとリスクマネジメント 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	10	保育への導入・展開・応用の探求 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	11	運動遊びアラカルト 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	12	自然と繋がる身体　ヨガ 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	13	遊び環境の多様性①固有覚・前庭覚 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	14	遊び環境の多様性②触感覚 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
	15	遊び環境の多様性③水遊び 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ポートフォリオの作成 45分
定期試験	◆定期試験〔 実技 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 実技試験の講評を行う 〕30分	

授業科目名	乳児保育Ⅰ			教員名	今村　麻子		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅰ〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	乳児保育の意義と役割、乳児の心身の発達、子育て支援						
授業の概要	乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1．乳児保育の概要について知る。 2．乳幼児期の発達や生活に理解を深める。 3．乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳児保育に必要な知識や技能を様々な観点を通して学ぶ。 【到達目標】 乳児保育についての歴史、現状、課題について理解する。乳幼児の心身の発達について基礎的知識を身につける。乳児保育の内容や、園児・保護者に対しての援助の方法について知る。						
授業の方法等	テキストに沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていく。ロールプレイングなどのアクティブラーニングを取り入れて行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「はじめて学ぶ乳児保育」志村聡子編著　同文書院　2,000円＋税						
参考書	「子どもとかかわる人のための心理学」 沼山博　三浦主博　編著　萌文書林						
関連科目	乳児保育Ⅱ、保育の心理学						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付ける。						
履修上の注意							

授業計画と時間外学習	1	乳児保育の社会的背景 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	乳児保育に関わる制度 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	保育所保育指針における「乳児保育」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	乳児保育の「ねらい及び内容」 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	乳児の体の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	乳児の心の発達 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	保育園における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	乳児院等における乳児保育 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	保育の計画 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	保護者との連携 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	保育者同士の連携のあり方 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	乳児保育実践の基礎知識①（だっこ、おむつ替え等） 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	乳児保育実践の基礎知識②（授乳、離乳等） 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	乳児保育実践の基礎知識③（安全管理） 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	地域や関係機関との連携 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	乳児保育Ⅱ			教員名	山田　真由美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔乳児保育Ⅱ〕						卒業認定・学位授与方針
							DP3
授業内容を示すキーワード	0・1・2歳児の発育・発達　　学びの芽生え　　受容的・応答的な関わり						
授業の概要	0．1．2歳児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を学ぶ。 養護及び教育の一体性を踏まえて、生活や遊び、保育の方法、環境について具体的に理解する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳児保育の重要性を認識し具体的援助や関わりを習得することで専門性を高めるとともに、演習によりコミュニケーショカ、表現力を身に付ける。 【到達目標】 (1)0．1．2歳児の発達を理解することができる。 (2)保育の知識、技術等、具体的に学びを深め、指導計画を作成し実践力を身に付けようとする。 (3)保育の事例から保護者支援の在り方、多様な連携を理解することができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分を除く、14回の授業を行います。 演習を中心に講義も合わせて行い、具体的学びを通して実践につながる授業を展開します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 30%						
教科書	「乳児保育の基本」　阿部和子　（株）萌文書林 2019年 定価(2,000円＋税)						
参考書	適宜、必要な資料を配付します。						
関連科目	乳児保育Ⅰ						
質問受付の方法	適宜講師控室等で対応します。						
履修上の注意							

授業計画と時間外学習	1	子どもと保育士等との関係の重要性 〈予習〉生活を共にする職員（職種）の役割を考える。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	2	個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり 〈予習〉どういう場面が想定されるか。 45分 〈復習〉個々の接し方の具体例をまとめる。 45分
	3	子どもの主体性の尊重と自己の育ち 〈予習〉0．1．2歳児の育ちを考える。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	4	子どもの体験と学びの芽生え 〈予習〉3つの芽生えと5領域を確認しておく。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	5	子どもの1日の生活の流れと保育の環境 〈予習〉子どもが安心して1日を過ごせるために配慮すべきことを考える。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	6	子どもの生活や遊びを支える環境の構成 〈予習〉ふさわしい室内環境を考える。 45分 〈復習〉レイアウトを記録する。 45分
	7	3歳未満児の発育・発達をふまえた生活と援助の実際 〈予習〉基本的生活習慣を確認しておく。 45分 〈復習〉発達の連続性を意識しまとめる。 45分
	8	3歳未満児の発育・発達をふまえた遊びと援助の実際 〈予習〉赤ちゃんの遊びを考える。 45分 〈復習〉工夫や遊びのバリエーションをまとめる。 45分
	9	子ども同士の関わりとその援助の実際 〈予習〉具体的な場面を1例考える。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	10	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 〈予習〉病気・事故など身近な事例を確認する。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	11	集団での生活における配慮 〈予習〉集団生活の意義を考える。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	12	環境の変化や移行に対する配慮 〈予習〉保護者との関係やチーム保育を考える。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	13	長期的な指導計画と短期的な指導計画 〈予習〉実際の実習について振り返りをしてみる。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
	14	個別的な指導計画と集団の指導計画 〈予習〉指導計画を作成してみる。 45分 〈復習〉授業内容をまとめる。 45分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	子どもの健康と安全			教員名	田中　直代		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔子どもの健康と安全〕						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	全体的な計画と保健計画、生命の保持、乳幼児身体発育曲線、抱っこ、仕上げ磨き、やけど、インフルエンザ、アレルギー性疾患、災害						
授業の概要	「子どもの保健」で学んだ知識や理論をもとに、子どもの健康及び安全を守る保健活動を学ぶ。新生児の身体測定、身体発育曲線による発育・発達の評価をする。子どもの生活習慣、発達援助と保健活動の意義を理解し、養護と教育の一体化した技術を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎となる。子どもの健康及び安全を守る保健活動は、保健計画（健康管理、健康教育、環境衛生）で日々の保育が展開されている。保健活動が計画的に全職員が参画、周知されることで感染症、事故、災害などの危機的状況に対応していることを理解するために学ぶ。 【到達目標】 1.保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 2.関連するガイドラインや近年のデータに関心を持ち、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。 3.健康及び安全にかかわる保健活動の計画・実施・評価を行う。 4.個の健康と集団の保健の視野に立った対応や予測した保育を行う。 5.保育が養護と教育を一体化すると、一人一人の子どもと応答的な触れ合いや言葉がけを楽しめることを理解する。						
授業の方法等	・教育実習１週間分を除く、１４回の授業を行う。 ・講義はパワーポイントのスライドと配布プリントによる講義と演習をセットに進めます。 ・演習（内容、手順、実施、評価）はグループ学習、必ず各自が体験し、技術を身につけます。 ・演習は自己評価、他己評価を行う。 ・項目により、レポート提出、発表を行う。 ・小テストがあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕80% ■授業への取り組み・態度（ ファイルノート点検 ） 10% ■提出物〔 レポート 〕10% ※出席は教科書、ファイルを確認する						
教科書	「新版子どもの保健Ⅱ」佐藤益子/中根淳子編著　ななみ書房、2018年　2,200円+税						
参考書	「こどもの病気の地図帳」鴨下重彦・柳沢正義監修　講談社、2012年　4000円+税 「子どもの保健　演習ノート」改訂第3弾　柳原洋一監修　診断と治療者　2016年　2,000円+税						
関連科目	「子どもの保健」「乳児小児救命法」「子ども家庭支援論」						
質問受付の方法	授業中、授業前後で随時受け付けます。						
履修上の注意	保育士資格必修科目なので遅刻・欠席等をしないこと。演習後レポートを提出すること。動きやすい服装で受講する。「子どもの保健」のA4判2穴ファイル復習して授業に臨むこと。配布資料はA4判2穴ファイルに整理と保存する。後日提出、復習テストあり。色鉛筆を持参すること。						

授業計画と時間外学習	1	保健活動の計画と評価（1）保育における保健活動（講義） 〈予習〉P7「保育における保健活動」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	2	保健活動の計画と評価（2）子どもの健康評価、身体計測の方法（演習） 〈予習〉「こどもの保健Ⅰ、身体計測・乳幼児身体発育曲線」を復習する。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分提出
	3	保健活動の計画と評価（3）観察のポイント（演習） 〈予習〉P25「健康観察」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	4	子どもの保健と環境（1）子どもの健康増進と保育の環境（講義） 〈予習〉P34「子どもの健康増進と保育の環境」を読む。 45分 〈復習〉配布プリントを見直す。 45分
	5	子どもの保健と環境（2）（講義） 養護（乳児の抱き方） 〈予習〉「発達過程と保健活動」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	6	子どもの保健と環境（3）（講義）衣服の選び方と着せ方、おむつ交換 〈予習〉P49「衣服・靴と健康」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	7	子どもの保健と環境（4）（講義）清潔習慣（うがい、歯みがき） 〈予習〉P45～48「清潔習慣　うがい、歯みがき」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	8	感染症の予防と適切な対応（講義）DVD視聴 〈予習〉P71「感染の仕方」p74「インフルエンザ」P76「予防接種」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	9	感染症の予防と適切な対応：予防接種、手洗い（演習） 〈予習〉P44「手洗い」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	10	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（講義） DVD視聴 〈予習〉P80「熱性けいれん、てんかん」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	11	事故防止および健康管理・安全管理　病気やけがの対応　事故の応急手当（講義） 〈予習〉P87「施設長の役割」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	12	事故防止および健康管理・安全管理　災害への備えと危機管理（講義） 〈予習〉P125「子どもの命を守るためにできること」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	13	心とからだの健康問題と地域保健活動　子どもの養育環境と心の健康問題（講義） 〈予習〉P133「愛着障害」を読む。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返す。 45分
	14	まとめ 〈予習〉配布したプリントを見返す。 45分 〈復習〉配布したプリントを見返し、定期試験の対策を考える。 45分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	障がい児保育			教員名	宇田川　和久		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔障害児保育〕						卒業認定 学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	障害、知的障害、発達障害、インクルージョン、特別支援教育、医療・福祉、連携、個別支援計画						
授業の概要	障害とは何か、障害のある子どもにとって保育はどのような意味を持つのか、障害に応じた適切な支援の方法はどうあるべきなのか、障害のある子どもの保育を進めるために関係機関とどのように連携していく必要があるのかなどについて学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 障害のある子どもや特別な支援を必要とする子どもの保育を進める上で必要な基本的な知識を習得することを目的とします。 【到達目標】 (1) 障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児 及びその保育について理解する。 (2) 個々の障害特性や心身の発達に応じた援助の仕方、合理的配慮などについて理解す る。 (3) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 (4) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの家庭に対する支援や関係機関との連携・協働について理解する。 (5) 障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。						
授業の方法等	講義・演習・障害幼児に関するビデオ視聴等を織り交ぜながら、障害児保育について理解を図るようにします。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他〔 小テスト 〕10%						
教科書	必要に応じてプリントを配付します。						
参考書	文部科学省及び国立特別支援教育総合研究所のホームページ						
関連科目	特別支援教育						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	講義等の記録、配付した印刷物はA4版2穴ファイルに学習ノートとして整理、保存すること。						

授業計画と時間外学習	1	「障害」の概念と障害児保育 〈予習〉障害の捉え方について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	2	障害児保育の歴史的変遷と仕組み 〈予習〉障害児保育の歴史について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	3	肢体不自由児の理解と援助 〈予習〉肢体不自由児の特性について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	4	知的障害児の理解と援助 〈予習〉知的障害児の特性について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	5	視覚・聴覚障害児、言語障害児等の理解と援助 〈予習〉視覚・聴覚障害児、言語障害児の特性について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	6	自閉症スペクトラム障害の特徴と保育での支援 〈予習〉自閉症スペクトラム障害の特性について情報を収取する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	7	LD，ADHDなど発達障害の特徴と保育での支援 〈予習〉発達障害に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	8	インクルーシブ保育とは 〈予習〉障害者権利条約に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	9	障害のアセスメント 〈予習〉障害の評価の仕方について情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	10	個別の支援計画の作成 〈予習〉個別の支援計画に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	11	保育所・幼稚園での支援体制 〈予習〉障害児保育に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	12	発達支援の技法、合理的配慮 〈予習〉障害者差別解消法と合理的配慮に関する情報を収集する。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
	13	事例研究①　家族への支援 〈予習〉提出課題の調査 90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
	14	事例研究②　関係機関との連携 〈予習〉提出課題の調査 90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
	15	事例研究③　就学支援 〈予習〉提出課題の調査 90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
定期試験	◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック 30分	

授業科目名	子育て支援			教員名	室井　佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔子育て支援〕						卒業認定・学位授与方針
							DP3
授業内容を示すキーワード	子どもと保護者　子育て家庭　支援　ニーズ　連携･協働　コミュニケーション　自己理解　他者理解						
授業の概要	保育者として、現代社会の中で求められている子育て支援の技術や技能を習得するために、子育て支援の特性や保育士の行う子育て支援の過程と実際を学びます。さらに、子ども家庭福祉を視野に入れ、倫理に基づいた専門性を学び、保育者を目指す上で自己理解を深め、他者理解に対する洞察力を養います。そして、保育者に求められる子育て支援の実際を、具体的な事例を用いて連携･協働を意識しながら学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子ども、家庭、社会等に対する実態を理解する。その上で、保育者として支援可能な環境の相互作用を支援し、様々な支援ニーズのある子どもと保護者、地域の子育て家庭への援助が展開できるよう、知識と技術を習得する。 【到達目標】 (1)保育者として保育の専門性を背景とした保護者や子育て家庭の相談に対する課題を整理して多様な支援を導き出す具体的な助言、情報提供、行動見本の提示等について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2)専門職としての職業倫理を踏まえて他者および自己理解を深め、配慮した態度と言動を意識することができる。 (3)保育者の行う子育て支援について、実践事例を通して具体的な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を検討し、ロールプレイすることができる。						
授業の方法等	教育実習1週間分を除く、14回の授業を行います。 演習および講義形式で授業を進めます。授業中は、自ら考え、積極的に発言、主張、行動をしていくことを求めます。 また、視聴覚教材の使用、グループワーク等も授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕30% ■授業への取り組み･態度 50% ■提出物 20%						
教科書	「ちょっとした言葉かけで変わる保護者支援の新ルール10の原則」 大豆生田啓友　メイト 保育所保育指針解説　厚生労働省　フレーベル館						
参考書	その他授業中に適宜紹介、資料を配付します。						
関連科目	社会福祉　子ども家庭福祉　教育相談　等						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室およびリアクションペーパー等で受け付けます。						
履修上の注意	授業内で配付するプリント等に書き込み、ノートの作成を行います。学んだことは一両日に整理してまとめておきましょう。演習に対して真剣に行うことで、技術が向上し、自己省察も深まります。意識高く望んでください。 やむを得ず欠席する場合は、翌日には研究室に資料を受け取り、課題の把握、授業内容の確認をしてください。						

授業計画と時間外学習		
	1	オリエンテーション、子ども･保護者が関わる多様な時間、空間、人間 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉教科書内に指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く。指定プリントに学習内容をまとめる 90分
	2	保護者の支援①(家庭の抱える支援ニーズの把握方法と多面的理解の方法) 〈予習〉第2回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 45分 〈復習〉配付資料を読む 45分
	3	保護者の支援②(日常的･継続的な関わりの中で相互理解、信頼関係を形成するコミュニケーション技法) 〈予習〉第3回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 20分 〈復習〉動画を見て、省察する 70分
	4	子育て支援における倫理基盤(保育士の倫理綱領を中心に) 〈予習〉第4回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 45分 〈復習〉自己理解のワークを行う 45分
	5	自己理解と他者理解(価値観や判断の基準を考える) 〈予習〉自己理解のワークを行う 45分 〈復習〉動画を見て、省察する 45分
	6	保育者の行う子育て支援の展開①(子ども･保護者の状況･状態の把握、支援計画、環境構成) 〈予習〉第6回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 45分 〈復習〉配付資料を読む 45分
	7	保育者の行う子育て支援の展開②(支援の実践･記録･評価･カンファレンス) 〈予習〉第7回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 45分 〈復習〉配付資料を読む 45分
	8	保育者の行う子育て支援の展開③(職員間の連携･協働、社会資源の活用,自治体/関係機関や専門職との連携･協働) 〈予習〉第8回で指定されたキーワードを見つけ、ラインを引く 45分 〈復習〉配付資料を読む 45分
	9	保育者の行う子育て支援の実際①(保育所等における支援) 〈予習〉事例を読み、具体的な支援を考える 45分 〈復習〉授業内で検討した事例を整理する 45分
	10	保育者の行う子育て支援の実際②(地域の子育て家庭に対する支援) 〈予習〉事例を読み、具体的な支援を考える 45分 〈復習〉授業内で検討した事例を整理する 45分
	11	保育者の行う子育て支援の実際③(障がいのある子どもと家庭、特別な配慮を要する子どもと家庭に対する支援) 〈予習〉事例を読み、具体的な支援を考える 45分 〈復習〉授業内で検討した事例を整理する 45分
	12	保育者の行う子育て支援の実際④(要保護児童等の家庭に対する支援) 〈予習〉事例を読み、具体的な支援を考える 45分 〈復習〉授業内で検討した事例を整理する 45分
	13	保育者の行う子育て支援の実際⑤(子ども虐待の予防と対応) 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉授業内で検討した事例を整理する 45分
	14	子育て支援のまとめ、保育者として子育て支援に必要な苦情解決とリスクマネジメント 〈予習〉配付資料を読む 45分 〈復習〉子育て支援の授業内容を振り返る 45分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り･フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	健康と人間関係の指導法			教員名	新井　英人/室井　佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格選択選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕						卒業認定・学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	領域　健康　人間関係　就学前教育　育みたい資質･能力　発達　主体的･対話的で深い学び　保育の構想						
授業の概要	五領域で共通的に修得すべき資質能力を学び、「健康」及び「人間関係」における保育内容の指導法を学びます。就学前教育の基本、育みたい資質能力、就学前教育における見方･考え方を含め、ねらいと内容と就学前教育における評価を具体的な保育展開に結び付ける専門的実践すべき力を身に付けます。指導案作成や模擬保育及びその振り返りを含め、主体的･対話的で深い学びから「健康」及び「人間関係」における保育内容の指導法を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「健康」及び「人間関係」における指導法の実際を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付けます。 【到達目標】 (1)幼児教育の基本を踏まえ、領域「健康」及び「人間関係」のねらい及び内容を理解し、それぞれ概説できる。 (2)乳幼児の発達や学びの過程を理解し、「健康」及び「人間関係」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけようとする。						
授業の方法等	演習･講義を合わせて行います。教員2人体制でクラス分けの授業を展開します。 アクティブラーニング、保育模擬実践等を活用します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕40% ■授業への取り組み･態度 30% ■提出物 30%						
教科書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、 「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育･保育要領解説」フレーベル館						
参考書	適宜、必要な資料を配付します。						
関連科目	保育内容健康、保育内容人間関係、言葉と表現の指導法、環境の指導法、保育内容総論						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室で受け付けます。						
履修上の注意	配付した資料は丁寧に整理、保存してください。なお、保育内容の指導法(健康と人間関係、言葉と表現、環境)は1つのファイルに一貫して保存することを勧めます。授業の実施場所、準備物、服装については、事前の指示をよく聞いてください。						

授業計画と時間外学習	1	幼児教育(就学前教育)の基本と保育内容の全体構造 〔担当:新井〕 〈予習〉シラバスの熟読 90分 〈復習〉保育内容の全体構造について整理する 90分
	2	保育内容「健康」のねらいと内容(幼児が経験し身に付けていく内容/指導上の留意点) 〔担当:新井〕 〈予習〉「健康」のねらいと内容について教科書を確認する 90分 〈復習〉ねらいや内容について整理する 90分
	3	幼児理解と保育の構想の基本 〔担当:新井〕 〈予習〉教科書から幼児理解と保育の構想の基本に関する箇所を確認する 90分 〈復習〉学習内容を整理する 90分
	4	情報機器及び教材の活用法(健康の特性/幼児の経験から) 〔担当:新井〕 〈予習〉情報機器の種類等について調べる 90分 〈復習〉情報機器及び教材の活用法について整理する 90分
	5	指導案作成(「健康」に関する指導案の構成と立案/具体的な保育展開) 〔担当:新井〕 〈予習〉作成する指導案の内容を考える 90分 〈復習〉作成した指導案を振り返る 90分
	6	幼児教育における評価方法 〔担当:新井〕 〈予習〉教科書の評価に関する内容を熟読 90分 〈復習〉評価方法について整理する 90分
	7	「健康」に関連した模擬保育と振り返り(時間/環境構成/保育者の援助/臨機応変な対応) 〔担当:新井〕 〈予習〉模擬保育を行う内容を考える 90分 〈復習〉実施した模擬保育について整理する 90分
	8	「健康」における保育実践の動向 〔担当:新井〕 〈予習〉健康における保育実践の動向について調べる 90分 〈復習〉保育実践の動向について整理する 90分
	9	領域ごとの内容の関連性と小学校や教科等への接続 〔担当:室井〕 〈予習〉第8回で配付した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分
	10	保育内容「人間関係」のねらいと内容(幼児が経験し身に付けていく内容/指導上の留意点) 〔担当:室井〕 〈予習〉第9回で配付した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分
	11	情報機器及び教材の活用法(人間関係の特性/幼児の経験から) 〔担当:室井〕 〈予習〉第10回で配付した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分
	12	指導案作成(「人間関係」に関する指導案の構成と立案/具体的な保育展開) 〔担当:室井〕 〈予習〉第11回で配付した資料を読む 30分 〈復習〉実際に指導案を立案する 150分
	13	「人間関係」に関連した模擬保育と振り返り(時間/環境構成/保育者の援助/臨機応変な対応) 〔担当:室井〕 〈予習〉第12回で配付した資料を読む 30分 〈復習〉実際に指導案を修正する 150分
	14	「人間関係」における保育実践の動向 〔担当:室井〕 〈予習〉第13回で配付した資料を読む 30分 〈復習〉実際に指導案を評価する 150分
	15	指導法のまとめと領域との関連性 〔担当:室井〕 〈予習〉第14回で配付した資料を読む 90分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 90分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り･フィードバック〔 成績発表時にコメントを入れ返却します 〕	

授業科目名	言葉と表現の指導法			教員名	相沢　和恵/鴨志田　加奈		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 /保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕						卒業認定・学位授与方針 DP3
授業内容を示すキーワード	幼児　言葉　表現　教育　保育						
授業の概要	幼児の言葉や表現に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「言葉」「表現」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解をする。保育内容の各領域を総合的に捉え、構想、計画、指導、実践、省察する力を習得する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 領域「言葉」「表現」のねらい及び内容について理解し、生活や遊びの中で乳幼児が身に付けていく内容や育ちを踏まえて具体的な保育を展開する方法を身につける。 【到達目標】 (1)乳幼児の心情、認識、思考や動きを視野に入れ、保育を展開し適切な援助ができる。 (2)言葉や表現について豊かな感性を養うための環境の構成と保育の展開について具体的に計画を立てることができる。 (3)素材や教材について特性を理解しそれらを活用することができる。						
授業の方法等	教員2人体制でクラス分けの授業を展開します。 ICTを積極的に活用し、グループワーク・模擬保育などを取り入れる。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕30% ■授業への取り組み・態度(ポートフォリオなどの提出物を含む) 70%						
教科書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館、「新訂 保育内容指導法「言葉」」 田上貞一郎 著 萌文書林						
参考書	授業中に適宜紹介します。						
関連科目	保育内容・言葉、保育内容・表現、保育内容総論、健康と人間関係の指導法、環境の指導法						
質問受付の方法	担当教員の研究室などで受け付けます。						
履修上の注意	授業実施場所の変更や準備物、服装などについては、担当教員の指示をよく聞いてください。						

授業計画と時間外学習	1	乳幼児の保育の基本と、保育内容領域「言葉」のねらいと内容、子どもの言葉の発達過程〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	2	子どもの言葉を育む環境構成と援助(1)〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	3	子どもの言葉を育む環境構成と援助(2)〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	4	子どもの言葉を豊かにする環境構成、教材、実践〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	5	子どもの言葉を育む保育の構想、保育場面を想定した指導案の作成〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	6	子どもの言葉を育む保育の実践、模擬保育の実施〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返す 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	7	子どもの言葉を育む保育の評価と改善、模擬保育の振り返り〔担当:相沢〕 〈予習〉授業内で配付したプリントを見返 90分 〈復習〉次回授業の教科書該当ページを読む 90分
	8	保育内容領域「表現」のねらい及び内容について(乳幼児の表現する姿を理解する)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	9	幼児期の表現活動と学び(実践例から幼児期の表現活動の位置付け)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	10	表現活動や遊びの可能性(様々な素材を用いた具体的な事例と理解)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	11	総合的な表現活動を実践(グループでの指導案作成)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	12	総合的な表現活動を実践(作成した指導案に沿って教材研究を深める)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	13	総合的な表現活動の実践と記録(ICTを活用し実践を振り返り改善を試みる)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	14	総合的な表現活動の実践(保育現場における表現活動について考える)〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
	15	まとめ:子どもの言葉や表現を育み、豊かにする保育実践〔担当:鴨志田〕 〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 90分 〈復習〉ワークシートの記入 90分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績発表時にコメントを入れ返却します 〕	

授業科目名	造形表現の探究			教員名	橋本　夏夫		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔大学が独自に設定する科目〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	「身近な素材」「グループワーク」「手で考える・心で感じ取る」「子どもの絵の発達段階」						
授業の概要	本授業は「制作する」という体験性を生かした学習です。単に技術を習得するだけではなく、その技術や知識が、子どもと共有する世界のどこに繋がっていくのか理解し、実際の保育での活用方法を学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 造形や描画について、子どもの意欲的な活動を引き出す方法や作品に現れた子どものこころの姿を感じ取れる力を養います。また、子どもの情操をはぐくむ生活の中の芸術性について学び、制作実践します。 【到達目標】 制作や描画の実践を通して、子どもと時間を共有する方法や、子どもが持っている力を引き出す力を身に付けます。さらにグループワークを通して他者との関係づくりや協働がスムーズにできるようになります。 また、子どもの絵の発達とそこに現れる特徴を知ることから、子どもの理解を深めます。						
授業の方法等	演習・グループワークなど、制作を主体に90分授業を14回（28時間）行います。 学期末に子どもの絵の発達とその特長についてなどの筆記試験を実施します。また、やまたんテキスト効果測定（造形表現）を2回以上実施します。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕60% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20%						
教科書	毎回プリントを配付する。講義には別途講義用プリントを配付する。						
参考書	「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「やまたんテキストQ＆A Vol.3」						
関連科目	図画工作・子ども文化演習B（クリスマス会）						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。 2.積極的な姿勢で授業に関わること。 3.毎回の授業時に配付するプリントは、各自が注意点を記入し完成させファイルとし、図画工作スケッチブックの巻末に添付すること						

授業計画と時間外学習		
※9.10.11回は各自の進捗状況により回数を横断して実施する。	1	ガイダンス・造形表現のねらい/実技・身近な素材で表現する(新聞紙遊び1・跳ね上げ遊びとキャッチボール) 〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	2	新聞紙遊び2・身体を包んで遊ぶ（何かになりきるという子どもの持つ変身への願望を新聞紙で表現する ） 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	3	新聞紙遊び3・新聞紙で野菜を作る（可塑性や柔軟性のある素材としての新聞紙で表現する ） 〈予習〉90分事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	4	透明な素材を活かした表現①(透明なビニールの特徴を利用した写し取り技法で、難しく感じる等身大の人物画を描く。) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	5	透明な素材を活かした表現②(ビニールにクレヨンで描き素材の質感を感じながら表現方法の幅を広げる。) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	6	目に見えない素材で表現する・空気の話とｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸについて(ポリ袋で大きな風船をつくって飛ばそう①) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	7	目に見えない素材で表現する・屋外と屋内の遊び方や効果の違いを学ぶ。(ポリ袋で大きな風船をつくって飛ばそう②) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	8	季節(行事)の壁面制作・(ｸﾘｽﾏｽ会へ向けて・年中行事について知る①)・Yﾃｷｽﾄ造形表現1回目の実施。 〈予習〉・Yﾃｷｽﾄ造形表現の暗記・事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	9	季節(行事)の壁面制作と展示・(ﾎｰﾙなどの効果的な飾りつけ方法を学ぶ)・Yﾃｷｽﾄ造形表現2回目の実施。 〈予習〉・Yﾃｷｽﾄ造形表現の暗記・事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	10	木の枝などの自然素材でｸﾘｽﾏｽｵｰﾅﾒﾝﾄをつくる・(年中行事について知る②・装飾の技法を知る) 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	11	擬人化した表現を学ぶ・どんぐりのせいくらべ （ﾄﾞﾝｸﾞﾘを自分自身と見立ててｵﾌﾞｼﾞｪを制作する。） 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	12	ｱｰﾄの森をつくる・卒業生の木 （毎年学生が一枚の葉っぱを作り、年度を超えて1本の樹木に壁面装飾として再構成する。） 〈予習〉事前に配付するプリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。 45分
	13	講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。なぐりがきから意味づけまで。 〈予習〉事前に配付する講義プリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉講義プリントをまとめる。 45分
	14	講義・子どもの絵の発達段階を学ぶ・子どもの絵に現れる特徴を理解する。図式期までと幼児画の特徴について。 〈予習〉事前に配付する講義プリントで内容の確認をする。 45分 〈復習〉講義プリントをまとめる。 45分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆フィードバック・振り返り〔定期試験の解説、講義用プリントを基に自己点検する 〕30分	

授業科目名	音楽表現の探究			教員名	福泉　博子		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔大学が独自に設定する科目〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	音楽づくり　音楽あそび　合唱　合奏　表現　協働学習						
授業の概要	幼児は生活や遊びの中で音楽に親しみ楽しむことで豊かな感性や創造性が生まれます。幼児の感性や創造性を育む方法や構成を実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能・表現力を習得します。 また、発表会やクリスマス会などのステージ発表を通し、準備工程や他者との協働の大切さを学びます。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 1）音楽遊びを通して幼児の音楽的感覚を育てる方法を学びます。 2）合唱や合奏活動を通じて歌唱法や幼児が使う各種楽器の奏法を学び、保育者に必要とされる指導技術を身につけます。 3）発表会やクリスマス会の準備を通して園行事(音楽会)の流れを習得します。 【到達目標】 ①表現が目指すもの、もたらすものを学び、音楽の力が幼児に与える影響を理解、分析することができる。 ②表現する楽しさを実感し、合唱や合奏を通してハーモニーの重なりや美しさを楽しむことができる。 ③歌詞や旋律が意図することを理解し、より幅広い表現ができるようにする。 ④協働して表現をしていく事を通し、他者と共感しながら豊かな表現につなげていくことができるようにする。 ⑤表現の知識技能を活かし、幼児の表現活動に展開させることができるようにする。						
授業の方法等	教育実習1週間分を除く、14回の授業を行います。 演習形式。前半は「音楽遊び・音楽づくり」「合唱・合奏」を45分ずつ行います。 後半はクリスマス会に向けての合唱や、少人数でのアンサンブルやグループ練習を行います。 発表会、クリスマス会の練習は学生リーダーを中心に学生主体で授業を展開していきます。 定期試験(実技　歌唱・合奏)を行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 実技 〕60% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物(レポート) 10%						
教科書	プリントを配付します。						
参考書	やまたんテキストVol.4						
関連科目	音楽　子ども文化演習B（劇）						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	発表を成功させるためには、一人一人が自覚と向上心をもって取り組まなくてはなりません。他者の表現を受け止め共感し、より豊かな演奏や表現ができるように心がけましょう。						

授業計画と時間外学習		
	1	オリエンテーション　表現(音楽)のねらいと内容の理解 〈予習〉シラバスの内容を確認する 20分 〈復習〉授業で配付されたプリントを見直す 70分
	2	身近にある音・声・楽器による音楽遊び（グループワーク）／ 合唱　歌唱法の習得 〈予習〉合唱曲の音取りを行う 毎日15分 〈復習〉音遊びのレポート作成 45分
	3	合唱　ハーモニーを学ぶ ／ 合奏　やさしい鍵盤楽器、有音程・無音程打楽器の奏法 〈予習〉合唱曲の練習 20分 〈復習〉合唱・合奏曲の練習 70分
	4	感情や動作を音を使って表現する音楽づくり 合唱 歌詞の内容理解と曲想の理解／合奏 個人・ｸﾞﾙｰﾌﾟ練習 〈予習〉配付プリントの見返す 20分 〈復習〉合唱・合奏曲の練習 70分
	5	合唱・合奏 グループ練習・全体練習 ／ 音楽会の準備についてⅠ 〈予習〉 合唱・合奏練習 45分 〈復習〉 音楽会の行程表の作成をする 45分
	6	合唱と合奏練習とリハーサル ／ 音楽会の準備についてⅡ 〈予習〉合唱・合奏練習 45分 〈復習〉音楽会の行程表の仕上げとプログラム作成 45分
	7	発表会 〈予習〉合唱・合奏練習 45分 〈復習〉発表会の振り返りレポート作成 45分
	8	クリスマス会の演目説明　演奏曲目決めと担当者決め 〈予習〉配付プリントを見返す 20分 〈復習〉クリスマス会の内容の確認と練習 70分
	9	グループ練習　合唱 パート練習・全体練習 ／ 合奏 読譜と個人練習・グループ練習 〈予習〉読譜と練習 20分 〈復習〉個人練習 35分　グループ練習 35分
	10	グループ練習　合唱 パート練習・全体練習 ／ 合奏 個人練習・グループ練習・全体練習 〈予習〉個人練習 20分 〈復習〉グループ練習 70分
	11	中間発表とグループ練習　（中間発表での問題点の見直しと調整） 〈予習〉中間発表の準備 45分 〈復習〉個人練習・グループ練習 45分
	12	全体練習 〈予習〉グループ練習 45分 〈復習〉個人練習・グループ練習 45分
	13	クリスマス会リハーサル 〈予習〉リハーサルの準備 45分 〈復習〉リハーサルの振り返りと練習 45分
	14	クリスマス会振り返りレポート　授業のまとめ・振り返り 〈予習〉なし 〈復習〉クリスマス会レポートの仕上げ 20分　実技試験曲の練習 70分
定期試験	◆定期試験〔 実技 〕80分 ◆振り返り・フィードバック〔 実技試験の講評 〕10分	

授業科目名	子ども文化演習A			教員名	尾崎 富美子/大島 靖史		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格選択必修						卒業認定・学位授与方針
							DP1
授業内容を示すキーワード	遊び歌（手遊び・ふれあい遊びなど） 廃材等を使った遊び 表現発表 児童文化財 絵本 紙芝居						
授業の概要	・保育者として必要な表現活動、その技術や態度について学びます。 ・「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して指導技術を習得します。 ・絵本、紙芝居の基本的な知識を学びます。また「パネルシアター」や「エプロンシアター」といった児童文化財を理解し、活用することができるようにする。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・児童文化の基本を学び、保育者としての力を養いましょう。 ・子どもとコミュニケーションをとるときに必要な態度、ことばについて考察します。 ・遊び歌や遊びをどのような場面、指導方法で子どもたちと楽しみ合うことができるかを学び、保育での実践力を高める。 ・遊びの理解を深めながら、協力して楽しむ。 【到達目標】 ・表現発表を通して自らの持ち味を生かすこと、保育者としての自己のイメージを創っていく。 ・遊び歌や遊びを知り、指導法を体得した経験を保育実習や保育業務で自信を持って実践することができる。						
授業の方法等	教員２人体制でクラス分けの授業を展開します。 1･2組の前半7回を尾崎、後半7回を大島。 3･4組の前半7回を大島、後半7回を尾崎、15回目の最終授業日は授業のまとめを尾崎/大島で担当します。 教師がバトンタッチしますが全体の流れをつかんで学びましょう。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
教科書	『たのしくおどろう「手あそびうた」（DVD付き）』 成美堂出版 『0～5歳 子どもを育てる読み聞かせ 実践ガイド』 小学館						
参考書	『かんたん楽しいエプロンで作るポケットシアター』尾崎富美子 トロル出版部 『手袋人形のへや』高田千鶴子 偕成社 教材CD『スマイル×スマイル』キッズスマイルカンパニー						
関連科目	実習指導Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ 教育実習Ⅰ･Ⅱ 保育実習Ⅰ･Ⅱ 乳児保育 保育内容						
質問受付の方法	授業開始前、授業終了後 随時受け付けます。						
履修上の注意	レポート提出がないと単位修得はできません。						

授業計画と時間外学習	1	オリエンテーション「自己紹介」「遊びとコミュニケーション」について 遊び歌の実践 〔担当:大島〕 〈予習〉シラバスを見て授業内容を把握する。 90分 〈復習〉教わった内容について振り返り、理解をする。 90分
	2	身近にある物を使った遊びを紹介・実践 〔担当:大島〕 〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。 90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。 90分
	3	遊び歌の実践「伝承遊び」など 保育での遊び実践のビデオ鑑賞 〔担当:大島〕 〈予習〉過去に教わったり、体験してきた手遊び、伝承遊びを振り返る。 90分 〈復習〉授業で行った遊びを振り返り練習する。 90分
	4	年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ【0･1･2歳編】 〔担当:大島〕 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。 90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。 90分
	5	年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ【幼児編】 〔担当:大島〕 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。 90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。 90分
	6	年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ【アレンジ編】 〔担当:大島〕 〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。 90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。 90分
	7	手遊びグループ発表 〔担当:大島〕 〈予習〉実技試験で行う手遊びを繰り返し練習し、習得する。 90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。 90分
	8	児童文化財とは－子どもの目線で考える 〔担当:尾崎〕 〈予習〉教科書を開いて内容を把握しておく。 90分 〈復習〉課題に取り組む。 90分
	9	絵本の魅力と基礎知識 〔担当:尾崎〕 〈予習〉年齢別を意識して絵本を読む。 90分 〈復習〉地域図書館の子ども・絵本コーナーを調べる。 90分
	10	絵本の開き読みの実践 〔担当:尾崎〕 〈予習〉開き読みのための絵本を選ぶ。 90分 〈復習〉地域図書館の子ども・絵本コーナーを調べる。 90分
	11	保育で活かす紙芝居 〔担当:尾崎〕 〈予習〉紙芝居を音読する。 90分 〈復習〉紙芝居を人の前で演じる。 90分
	12	パネルシアター 作り方と演じ方 〔担当:尾崎〕 〈予習〉学校図書室にあるパネルシアターを借りだす。 90分 〈復習〉パネルシアターを実践する。 90分
	13	エプロンシアター 活用と制作の方法 〔担当:尾崎〕 〈予習〉学校図書室でエプロンシアターについて調べる。 90分 〈復習〉エプロンシアターを演じる。 90分
	14	保育で活きる「わらべうた」〔担当:尾崎〕 〈予習〉知っているわらべうたを書き出しておく。 90分 〈復習〉わらべうた絵本を探して読んでみること。 90分
	15	授業のまとめ 〔担当:尾崎/大島〕 〈予習〉授業で配布された資料をまとめる。 90分 〈復習〉実践に向けて自身の課題に取り組む。 90分
定期試験	◆定期試験〔レポート〕 ◆振り返り・フィードバック（成績発表時にコメントを入れ返却します）	

授業科目名	ピアノA			教員名	数野 麻衣子/大導寺 俊平/福士 紗希 中川 悠子/宮尾 夕華		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	ピアノ　弾き歌い　個別学習　習熟度別学習						
授業の概要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ未経験者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます。 また、園生活で使われる基本的な生活の歌を習得します。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 読譜力を身につけ、正しい運指法、打鍵法で演奏できるようにします。幼稚園・保育所等で歌う生活の歌を弾き歌いできるレベルを目指します。 【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○初級者は「ピアノ・弾き歌い進度表」の基礎Ⅰまでを、中級者は基礎Ⅲまでを、上級者はソナチネ・ソナタ・ブルグミュラーなどが演奏できる。 ○園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いができる。						
授業の方法等	○演習形式で行います。 ○個人レッスンを毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを図ります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 実技(ピアノ) 40%・弾き歌い 40% 〕80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)　ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書	「こどものうた 100」(チャイルド社)　保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 2019年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表(山村短大オリジナル)　やまたんテキストvol.4						
関連科目	音楽 音楽表現の探究 ピアノB						
質問受付の方法	随時受け付けます。						
履修上の注意	他出版社の楽譜を使用する場合は教員に確認してください。 2019年度入学生ピアノ・弾き歌い進度表を毎回持参すること。楽譜に書き込みをしたりするので筆記用具を持参すること。 レッスンを受けるときは爪が伸びていないか注意すること						

授業計画と時間外学習	1	オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習　ピアノ個人レッスン 〈予習〉シラバスの内容確認 15分 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	2	2～14回　学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	3	初級 バイエル 導入Ⅰ 右手・左手 (ピアノ・弾き歌い進度表参照) 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	4	初級 バイエル 導入Ⅱ 左右の手の独立・各指の独立 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	5	初級 バイエル 導入Ⅲ カノン 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	6	初級・中級 バイエル 基礎Ⅰ 分散和音の練習と重音の練習 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	7	中級 バイエル 基礎Ⅱ 新しい調とその練習 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	8	中級 バイエル 基礎Ⅲ 複合問題 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	9	中級・上級 バイエル 応用Ⅰ 曲の構成の把握と転調を含む曲 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	10	中級・上級 バイエル 応用Ⅱ 総復習 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	11	上級 ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	12	初級・中級・上級　弾き歌い 生活の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習と歌唱練習 毎日15分程度
	13	中級・上級　弾き歌い 行事の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習と歌唱練習 毎日15分程度
	14	中級・上級 弾き歌い 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習と歌唱練習 毎日15分程度
	15	実技試験リハーサル 〈予習〉試験曲の練習 毎日10分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り 30分、試験曲の練習(歌唱練習含) 毎日15分程度
定期試験	◆定期試験〔 実技 〕80分 ◆振り返り・フィードバック〔 実技試験の講評を行う 〕10分	

教職に関する科目

授業科目名	教育方法・技術論			教員名	今村　麻子/橋本　淳一		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目/教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)〕						卒業認定・学位授与方針 DP1
授業内容を示すキーワード	遊びによる学び、環境による保育、子どもの主体性						
授業の概要	教育の方法及び技術に関する基本的な理論を学ぶ。また、幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。子どもが主体的かつ協働的に参加する学びとしての学校教育のあり方、特に幼児期の教育のあり方について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児期の学びは子どもを主体として、環境や遊びなどの経験を通して育まれるものであるということを理解する。幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。 【到達目標】 様々な教育方法とその特徴を説明することができる。幼児期の特徴に応じた教育方法について説明できる。						
授業の方法等	オムニバス方式で各教員が授業回を担当する。 テキストに沿って、視聴覚教材により実践例などから理解を深める。 自身で考えた計画のプレゼンテーションを求めるなどアクティブ・ラーニングを取り入れて行う。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕40% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 40%						
教科書	「幼児教育の方法」小田豊・青井倫子　編著 北大路書房　1,700円＋税						
参考書	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館						
関連科目	保育・教職論、保育・教職実践演習（幼稚園）						
質問受付の方法	適宜、担当教員の研究室等で受け付ける						
履修上の注意							

授業計画と時間外学習	1	教育の方法、技術を学ぶ意義　〔担当：橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	2	児童中心主義保育の流れ〔担当：今村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	3	環境を通しての学び〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	4	遊びを通しての学び〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	5	指導計画・評価の理解、幼稚園教育要領について　〔担当：橋本〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	6	子どもの主体性と教諭の意図〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	7	保育形態のタイプ（自由保育・一斉保育・異年齢保育等）〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	8	保育形態のタイプ（プロジェクト・アプローチ）〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	保育形態のタイプ（モンテッソーリ教育）〔担当：今村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	10	保育形態のタイプ（森のようちえん）〔担当：今村〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	11	保育における評価の方法〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	12	教諭の学びと成長〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	13	指導計画作成について〔担当：今村〕 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	14	幼児教育におけるICT活用①　〔担当：橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	15	幼児教育におけるICT活用②　〔担当：橋本〕 〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

保育者の資質を高める科目

授業科目名	基礎演習 ＊			教員名	鴨志田 加奈/宇田川 和久 相沢 和恵/橋本 淳一		
配当年次	1	開講時期	通年	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	◎卒業必修						卒業認定・学位授与方針 DP5
授業内容を示すキーワード	体験学習、行事、保育体験、ナチュラル保育検定、やまたんテキストQ＆A、個人面談						
授業の概要	体験学習、行事に向けた事前の準備、事後の振り返りを中心に、学生としての基本的生活態度、学習方法、挨拶・マナー、コミュニケーション能力、社会人・職業人としての使命感、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。 幼稚園、小学校教諭等の実務経験を有する教員からその経験を生かした、具体的・実際的な授業を行う。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備等、クラスゼミ学習等を通して、保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。 【到達目標】 1）幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 2）保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 3）園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 4）基本的生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	教育実習１週間分（後期）を除く、通年２９回の授業を行います。 学内での講義・演習、グループワーク、学外でのフィールドワーク、体験学習など多様な授業形態で実施する。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
教科書	特に使用しません。必要な資料は適宜配付します。						
参考書	ナチュラル保育検定テキスト やまたんテキストQ＆A その他は適宜指示します。						
関連科目	キャリアアップセミナーⅠ・Ⅱ 総合演習 実習指導Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	各担任に直接質問してください。						
履修上の注意	基礎演習（第1時限）とキャリアップセミナーⅠ（第2時限）とは、学習内容によっては連続授業となったり、同じテーマであってもそれぞれの授業の異なった観点から展開する場合があります。 また、保育体験Ⅳとして、土日祝等を利用した地域のボランティアに参加する活動も必須となります。						

授業計画と時間外学習				
	1	ガイダンス 〈予習〉シラバス・学生便覧（学年暦・学生生活の案内等）を熟読 〈復習〉学習計画をまとめる	16	後期オリエンテーション、建学の精神表彰 〈予習〉後期の学習計画を立てる 〈復習〉後期の学習計画を確認する
	2	ｸﾗｽｾﾞﾐ（仲間づくり） 〈予習〉ｸﾗｽづくりを考える 〈復習〉ｸﾗｽとｸﾞﾙｰﾌﾟでの討議を振り返る	17	運動会リハーサル 〈予習〉運動会の準備を理解する 〈復習〉運動会準備を確認、自己点検・評価する
	3	ｸﾗｽｾﾞﾐ（委員等選出） 〈予習〉ｸﾗｽづくりを考える 〈復習〉ｸﾗｽとｸﾞﾙｰﾌﾟでの討議を振り返る	18	運動会 〈予習〉運動会の進行を理解する 〈復習〉運動会参加を自己点検・評価する
	4	防災避難訓練、学生総会 〈予習〉防災避難訓練を考える 〈復習〉防災避難訓練の自己点検・評価	19	ｸﾗｽｾﾞﾐ 〈予習〉来学園児対応計画を考える 〈復習〉ｸﾗｽとｸﾞﾙｰﾌﾟでの討議を振り返る
	5	保育体験Ⅰ～Ⅳについて、保育体験Ⅰ事前学習 〈予習〉保育体験を理解する 〈復習〉ﾜｰｸｼｰﾄをまとめる	20	来学する園児対応の準備、双子ちゃん集まれ参観 〈予習〉来学園児の対応準備を考える 〈復習〉参観の振り返り、来学園児対応準備を確認
	6	保育体験Ⅰ（ふれあい体験）① 〈予習〉ふれあい体験のｲﾒｰｼﾞづくり 〈復習〉振り返りｼｰﾄをまとめる	21	保育体験Ⅲ（施設見学） 〈予習〉施設見学の準備 〈復習〉見学記録をまとめる
	7	保育体験Ⅰ（ふれあい体験）② 〈予習〉ふれあい体験のｲﾒｰｼﾞづくり 〈復習〉振り返りｼｰﾄをまとめる	22	来学した園児とふれあおう 〈予習〉来学園児の対応を確認する 〈復習〉園児対応を自己点検・評価する
	8	ｸﾗｽｾﾞﾐ（山緑祭準備） 〈予習〉山緑祭のｸﾗｽ企画を考える 〈復習〉ｸﾗｽとｸﾞﾙｰﾌﾟでの討議を振り返る	23	実習報告会（1・2年合同） 〈予習〉実習経験を振り返る 〈復習〉報告会の見聞をまとめる
	9	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）① 〈予習〉園見学のｲﾒｰｼﾞづくり 〈復習〉見学記録をまとめる	24	ﾅﾁｭﾗﾙ保育検定・やまたんﾃｷｽﾄQ＆A効果測定事前学習 〈予習〉ﾃｷｽﾄを使って試験対策をする 〈復習〉ﾜｰｸｼｰﾄをまとめる
	10	保育体験Ⅱ（幼稚園・保育園見学）② 〈予習〉園見学のｲﾒｰｼﾞづくり 〈復習〉見学記録をまとめる	25	ﾅﾁｭﾗﾙ保育検定・やまたんﾃｷｽﾄQ＆A効果測定 〈予習〉ﾅﾁｭﾗﾙ保育検定・やまたんﾃｷｽﾄQ＆A効果測定事前学習 〈復習〉自己採点
	11	ﾅﾁｭﾗﾙ保育検定・やまたんﾃｷｽﾄQ＆A効果測定 〈予習〉ﾅﾁｭﾗﾙ保育検定・やまたんﾃｷｽﾄQ＆A効果測定事前学習 〈復習〉自己採点	26	ｸﾗｽｾﾞﾐ 〈予習〉ｸﾘｽﾏｽ会への参与を考える 〈復習〉ｸﾗｽとｸﾞﾙｰﾌﾟでの討議を振り返る
	12	ｸﾗｽｾﾞﾐ（山緑祭準備） 〈予習〉山緑祭準備の確認 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認	27	ｸﾘｽﾏｽ会リハーサル 〈予習〉ｸﾘｽﾏｽ会の目的・準備を確認する 〈復習〉リハーサルへの参与を自己点検・評価
	13	山緑祭振り返り、TDL事前準備 〈予習〉山緑祭準備の確認 〈復習〉山緑祭準備の進捗状況の確認	28	ｸﾘｽﾏｽ会振り返り 〈予習〉ｸﾘｽﾏｽ会の準備を再確認する 〈復習〉ｸﾘｽﾏｽ会への参与を自己点検・評価
	14	建学の精神・学習ゼミ等ｱﾝｹｰﾄ、体験学習事前学習 〈予習〉学習ゼミ、体験学習の目的等を理解する 〈復習〉体験学習の内容を理解する	29	後期試験に向けて等 〈予習〉4月までのｽｹｼﾞｭｰﾙを計画 〈復習〉4月までのｽｹｼﾞｭｰﾙを確認
	15	前期試験に向けて、里山保全・動物飼育体験学習オリエンテーション 〈予習〉体験学習の目的・内容を整理する 〈復習〉体験学習の進め方を確認する		＊〈予習〉〈復習〉は各45分
定期試験	◆定期試験は行わない		◆定期試験は行わない	

授業科目名	アウトドア演習A			教員名	新井　英人/井上　満		
配当年次	1・2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針
							DP5
授業内容を示すキーワード	自然、グループリーダー　ネイチャーゲーム　いつでもだれでも						
授業の概要	自然を直接体験するプログラムや各種のゲームを体験しながら、仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所・幼稚園で活用できるレクリエーション・野外活動を、ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験しながら身に付け、人や自然を深く愛し慈しむことのできる骨太な保育士・幼稚園教諭の養成とその基礎を培う。 【到達目標】 ネイチャーゲームや楽しいゲームを体験する中で、リーダーとしての資質を向上させ、園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付ける。						
授業の方法等	グループリーダーを中心に、個人、少人数、大勢とバリエーションを変えながら楽しく活動する。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 筆記 〕 80% ■授業への取り組み・態度 20%						
教科書	「こどもと自然とネイチャーゲーム」 1,650円　※購入方法については授業時に指示する。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
関連科目	アウトドア演習B						
質問受付の方法	授業の前後で行う。						
履修上の注意	運動ができる服装、シューズを用意する。資格取得には若干の費用が掛かる。						

授業計画と時間外学習	1	ネイチャーゲームの概要、講義内容について、仲間作りゲーム〔担当：井上〕 〈予習〉様々な動物の特徴について調べておく 90分 〈復習〉プリントを読みまとめる 90分
	2	動物の特徴に気付くネイチャーゲーム〔担当：井上〕 〈予習〉カモフラージュとはどんなものか調べておく 90分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 90分
	3	生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム〔担当：井上〕 〈予習〉人間の持つ五感について他の生き物との違いを調べておく 90分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 90分
	4	観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念〔担当：井上〕 〈予習〉ハンドブックP14～34を読んでおく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームとは何かまとめておく 90分
	5	身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法〔担当：井上〕 〈予習〉ハンドブックP35～41を読み安全対策について調べておく 90分 〈復習〉下見の重要性についてまとめておく 90分
	6	他の人の感性に気付くネイチャーゲーム、安全対策〔担当：井上〕 〈予習〉P42～57を読んでおく 90分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめておく 90分
	7	生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲー指導員制度〔担当：井上〕 〈予習〉指導実習のシミュレーションをしてみる 90分 〈復習〉指導員の心構えをまとめておく 90分
	8	現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む〔担当：井上〕 〈予習〉指導実習のシミュレーションをしてみる 90分 〈復習〉アドバイスシートを読み指導法を振り返る 90分
	9	感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲームと指導実習〔担当：井上〕 〈予習〉ネイチャーゲームの理論をまとめる 90分 〈復習〉どんな場面で使えるか具体的な場面を考える 90分
	10	全体のふりかえりとまとめ、(リーダー登録者は検定試験を兼ねる)〔担当：井上〕 〈予習〉体験したことがどこで生かされるか考えておく 90分 〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 90分
	11	自然講座　パート1　樹木〔担当：新井〕 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の樹木について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	12	自然講座　パート2　草花〔担当：新井〕 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の草花について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	13	自然講座　パート3　動物〔担当：新井〕 〈予習〉ナチュラル保育検定テキスト掲載の動物について調べる 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	14	レクリエーション　パート1　歌遊びゲーム〔担当：新井〕 〈予習〉前時に配付したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
	15	レクリエーション　パート2　頭のゲーム〔担当：新井〕 〈予習〉前時に配付したプリントにより学習内容を理解する 90分 〈復習〉プリントをまとめ、ゲームを行う 90分
定期試験	◆定期試験〔 筆記 〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔 定期試験の解説を行う 〕30分	

授業科目名	ソーイング演習			教員名	菅原 きよみ		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業･免許･資格との関係							卒業認定・学位授与方針
							DP2
授業内容を示すキーワード	建学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー。						
授業の概要	・学園の建学の精神や歴史を理解し、学園のルーツである和裁を体験し自分の浴衣を製作する。 ・翌年の学園祭に、自作の浴衣を着て参加できるようにする。 ・学園祭の前に数回補習を行い、着付け・帯結び・着物着用時のマナー等を学習する。 ・幼稚園児の浴衣の着付け・へこ帯の結び方・肩揚げ・腰揚げの方法を学習する。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ・学園のルーツに触れ、建学の精神を理解する。 ・実際に和裁に触れ、和の知識を体験する。 ・自分の浴衣を完成させ、学園祭で着用することにより達成感と自信を身につける。 【到達目標】 ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣と製作方法を理解し、自分で浴衣を作ることができる。 ・子どもに浴衣を正しく着せることができる。						
授業の方法等	講義と演習方式。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■提出物（浴衣完成） 50% ■その他〔 単元ごとのできばえ 〕30%						
教科書	和裁教本 ゆかた （著作者 山村学園創設者 山村 婦みよ先生） ※購入の方法については授業時に指示します。						
参考書	適宜、プリントを配付する。						
関連科目	子ども文化演習A						
質問受付の方法	授業中は勿論、授業前・授業後に理解ができるまで質問を受け付ける。						
履修上の注意	後期授業開始前に、浴衣地の販売とガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を行います。 次年度の学園祭で着られるように制作を行い、学園祭の前に着付け・帯結び・ヘアースタイル・マナー指導等の補習を3回程度行います。						

授業計画と時間外学習		
	1	柄合わせ・裁断 〈予習〉各部の名称を覚えること。 20分 〈復習〉袖標付け、袖下袋縫いができるように柄合わせ・裁断を終わらせる。 160分
	2	袖標付け・ミシンの使い方・アイロンの使い方・袖下袋縫い 〈予習〉ミシンの使い方を理解し、練習する。 20分 〈復習〉袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけに進めるようにする。 160分
	3	袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけ 〈予習〉三つ折りぐけの方法を調べる。 20分 〈復習〉見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方に進めるようにする。 160分
	4	見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方 〈予習〉きせのかけ方をについて調べる。 20分 〈復習〉肩当て・居敷当てに進めるようにする。 160分
	5	肩当て・居敷当ての縫い方(新モス使用) 〈予習〉寸法通りにミシンがかけられるよう練習する。 90分 〈復習〉肩当て付け・居敷当てに進めるようにする。 90分
	6	肩当て付け・居敷当て付け 〈予習〉耳ぐけ・折りぐけについて調べる。 20分 〈復習〉衽標付け・衽襟下三つ折りぐけに進めるようにする。 160分
	7	衽標付け・衽襟下三つ折りぐけ 〈予習〉衽標付け・衽襟下三つ折りぐけを進める。 90分 〈復習〉三つ折りぐけを完成させる。 90分
	8	衽付け・衽付け始末 〈予習〉きせのかけ方について調べる。 20分 〈復習〉衽付け・衽付け始末を終わらせる。 160分
	9	襟標付け・共衿標付け・共衿付け 〈予習〉本ぐけの方法を理解する。 20分 〈復習〉襟標付け・共衿標付け・共衿付けを進める。 160分
	10	衿付け(三つ衿芯の入れ方・待ち針の打ち方) 〈予習〉棒衿・ばち衿・広衿の形を理解する。 20分 〈復習〉衿付けを進める。 160分
	11	衿(きせのかけ方)・衿先の始末・衿ぐけ 〈予習〉ほんぐけの針の入れ方・出し方を調べる。 20分 〈復習〉脇縫いに進めるようにする。 160分
	12	脇縫い・脇縫い代の始末 〈予習〉きせをかけた後の、かくしじつけの方法を理解する。 20分 〈復習〉脇縫い代の始末を進める。 160分
	13	脇縫い始末 〈予習〉脇縫い代の始末を進める。 90分 〈復習〉正しい耳ぐけの方法を、再度見直す。 90分
	14	裾ぐけ(額縁の作り方) 〈予習〉額縁の作り方について調べる。 20分 〈復習〉裾の長さを確認する。 160分
	15	袖付け・袖付け始末・完成確認・仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方 〈予習〉かんぬき止め(6ヶ所)の方法を覚える。 90分 〈復習〉仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方を練習する。 90分
定期試験	◆定期試験は行わない。	

授業科目名	ダンスムーブメント			教員名	鴨志田　加奈		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							卒業認定・学位授与方針
							DP3
授業内容を示すキーワード	身体性・表現・ダンス・創作・発表						
授業の概要	身体表現について発展的に学ぶ。踊ることの意義や文化的背景について知識を深めながら、実技としてバレエ・ジャズダンス・テーマパークダンス・シアターダンス等に取り組み、身体性と表現力を身につける。グループでダンスの創作・発表を行い振付についての経験を深める。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 ダンス文化に関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。 【到達目標】 ①身体表現や音楽等についての文化的教養を身につける。 ②充実した表現経験を持って、子どもたちとの表現活動に対する応用力を身につける。 ③身体性と表現力を向上させる。						
授業の方法等	教育実習1週間分を除く、14回の授業を行います。 実技、講義、ビデオ視聴、グループワーク。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕20% ■授業への取り組み・態度 40% ■提出物 10% ■その他〔 授業内発表 〕30%						
教科書	使用しない						
参考書	授業にて適宜紹介します						
関連科目	幼児体育・保育内容表現・言葉と表現の指導法						
質問受付の方法	適宜、研究室等で受け付けます						
履修上の注意	日常から身体表現や音楽表現に興味を持って、音楽・映像鑑賞、パフォーマンスを観る等、積極的に表現に触れる機会を作ってください。日常から体を動かす習慣を身につけてください。						

授業計画と時間外学習		
	1	オリエンテーション　ダンスと文化 （講義） 〈予習〉ダンスについて調べる 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
	2	バレエ基礎1　バーレッスン 〈予習〉バレエ動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	3	バレエ基礎2　ターン・ジャンプ 〈予習〉バレエ動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	4	ジャズダンス基礎1　アイソレーション 〈予習〉ジャズダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	5	ジャズダンス基礎2　クロスフロア・ステップ 〈予習〉ジャズダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	6	テーマパークダンス基礎1　コンビネーション1 〈予習〉テーマパークダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	7	テーマパークダンス基礎1　コンビネーション2 〈予習〉テーマパークダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	8	シアターダンス基礎1　コンビネーション1 〈予習〉シアターダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	9	シアターダンス基礎2　コンビネーション2 〈予習〉シアターダンス動画鑑賞 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	10	シアターダンス基礎3　発表 〈予習〉発表に向けた練習 45分 〈復習〉動きのおさらい 45分
	11	ダンス創作1　グループ・楽曲決め 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク（練習・創作） 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理（ミーティング） 45分
	12	ダンス創作2　振付 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク（練習・創作） 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理（ミーティング） 45分
	13	ダンス創作3　振付完成 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク（練習・創作） 45分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理（ミーティング） 45分
	14	ダンス作品の発表 〈予習〉次回授業に向けたグループワーク（練習・創作） 45分 〈復習〉ワークシートの記入 45分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績通知日等にコメント追記したのもを返却 〕	

実　習　科　目

授業科目名	実習指導Ⅰ ＊			教員名	橋本 淳一/相沢 和恵 今村 麻子/室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修〔保育実習指導Ⅱ〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕						卒業認定・学位授与方針 DP6
授業内容を示すキーワード	教育実習Ⅰ 幼稚園						
授業の概要	主として「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の事前・事後指導として、実習準備から実習終了に至る細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、実習に必要な態度、基礎的な知識や技術、たとえば観察のポイントや子どもとのかかわり方から、幼稚園におけるより実践的な指導法や指導計画の立て方や指導案の書き方までを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 主として教育実習Ⅰ・Ⅱを円滑に行うため、「記録」することを中心にして必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 特に事前指導では、実習生として幼稚園の教育活動に参画するする意識を高め、取得すべき知識や技能等について知り、実習の意義を理解する。 【到達目標】 保育者であることを自覚し、基本的な実習態度を習得している。保育場面の適切な観察を行うことができる。観察をもとに振り返り・評価までの必要十分な実習日誌を作成できる。幼児の発達等をふまえて保育実践にも参与できる。						
授業の方法等	全体講義、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 50%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』、『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）』 厚生労働省『保育所保育指針解説書』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』						
関連科目	教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導Ⅱ・Ⅲ						
質問受付の方法	実習アドバーザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授業計画と時間外学習		
	1	オリエンテーション～実習科目の概略と実習スケジュールの説明 〈予習〉学生便覧・実習関係を下読み 90分 〈復習〉テキスト第1章1-4を読み返し理解を定着 90分
	2	幼稚園と幼稚園教育実習について、実習の意義と実習生の心構え 〈予習〉テキスト第2章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
	3	子どもの姿と子どもとのかかわり方①（保育場面のビデオ教材から） 〈予習〉テキスト第2章1.2.3を下読み 90分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 90分
	4	子どもの姿と子どもとのかかわり方②（保育場面のビデオ教材から） 〈予習〉テキスト第2章1.2.3を下読み 90分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 90分
	5	保育体験の準備（態度、マナー、体験の仕方・観点） 〈予習〉テキスト第1章7、第2章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
	6	保育体験Ⅰの振り返り①／幼稚園と保育所に焦点をあてって 〈予習〉テキスト第3章1、第4章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
	7	保育体験Ⅰの振り返り②／幼稚園教諭と保育士に焦点をあてて 〈予習〉テキスト第3章1、第4章1を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
	8	幼稚園・保育園見学の準備（態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
	9	幼稚園・保育園見学の振り返り①（学生の記録と園の日案をもとに） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 90分 〈復習〉見学記録を作成し、書き方を習得する 90分
	10	幼稚園・保育園見学の振り返り②（学生の記録と園の日案をもとに） 〈予習〉テキスト第2章1.2.5を下読み 90分 〈復習〉見学記録を作成し、書き方を習得する 90分
	11	保育実践ボランティアのねらいと進め方 〈予習〉テキスト第4章5を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
	12	実習日誌の書き方① 実習の進め方と実習目標･課題、実習計画の立て方 〈予習〉テキスト第2章4を下読み 90分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 90分
	13	実習日誌の書き方② 一日の流れと環境構成 〈予習〉テキスト第2章5を下読み 90分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 90分
	14	実習日誌の書き方③ 子どもの活動と保育者の援助、一日の振り返り 〈予習〉テキスト第2章5を下読み 90分 〈復習〉授業時の課題を解き理解を定着 90分
	15	教育実習Ⅰ・保育実践ボランティアへ向けての準備の確認、オリエンテーションの受け方 〈予習〉テキスト第1章6.7を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着 90分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績発表時にコメントを入れ返却します 〕	

授業科目名	実習指導Ⅱ ＊			教員名	橋本 淳一/相沢 和恵/今村 麻子 宇田川 和久/室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習指導Ⅰ〕						卒業認定・学位授与方針 DP4
授業内容を示すキーワード	保育所　乳児　保育実習Ⅰ　児童福祉施設　施設実習Ⅰ						
授業の概要	主として 「保育実習Ⅰ」及び「施設実習Ⅰ」の事前・事後指導として実習手続きの細部日程はもちろん、特に実務教員からその職務経験を生かした、保育所や児童福祉施設の機能やそこでの保育や養護、援助の実際、保育者の職務や必要とされる子どもや利用者とのかかわり方、実習における観察・記録・評価、実習計画、さらに子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務などを学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 主として保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰを円滑に行うため、実習の意義・目的を理解した上で、「計画を立てて保育実践する」ことを中心に、必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 【到達目標】 保育者としての役割行動(言葉遣いや立居振舞)を取得し、自分で保育計画・指導案を作成して部分・責任実習等で適切な保育実践ができる。実習を総括し、自己評価し、課題の明確化ができる。						
授業の方法等	全体講義,、グループ別の演習、ディスカッション、実技等多様な形式で進めます。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔 レポート 〕30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔 課題・発表 〕50%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林						
参考書	文部科学省『幼稚園教育要領解説』、『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）』 厚生労働省『保育所保育指針解説書』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』						
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅲ　教育実習Ⅰ　保育実習Ⅰ						
質問受付の方法	実習アドバイザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	欠席超過の場合は、実習参加中止となります。また、実習オリエンテーションのための欠席であっても欠席の扱いとなります。オリエンテーションは極力他の曜日時間に行ってください。						

授業計画と時間外学習	1	保育実践ボランティアの振り返り、教育実習Ⅰの事前準備から実習終了までの手続きの確認 日誌の書き方・事前記入編（①ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝの記録、②園の記録、③目標・課題、④実習計画） 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉日誌の書き方・事前記入の理解と定着 90分
	2	日誌の書き方①（園の一日の流れと実習生の役割に着目した記述） 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉園の一日の流れと実習生の役割に着目した記述の理解と定着 90分
	3	日誌の書き方②（保育者の援助やこどもの発達に着目した考察） 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章5を読む 90分 〈復習〉保育者の援助やこどもの発達に着目した考察の理解と定着 90分
	4	部分実習の考え方・進め方とその準備①（絵本・紙芝居他） 〈予習〉関連配布物とテキスト付録4を読む 90分 〈復習〉絵本・紙芝居の読み聞かせ練習 90分
	5	教育実習Ⅰ直前指導 （求められる態度、知識、技能の確認） 〈予習〉関連配布物とテキスト大1章7を読む 90分 〈復習〉求められる態度、知識、技能の確認 90分
	6	教育実習Ⅰの振り返り、保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの事前準備とｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝまでの手続き確認、 施設見学の準備（態度、マナー、観察の仕方、記録の書き方） 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章2を読む 90分 〈復習〉施設見学の準備の理解と定着 90分
	7	施設実習の特色と施設実習のねらい、施設実習のスケジュール 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章1を読む 90分 〈復習〉施設実習の目的と内容の理解と定着 90分
	8	施設の種類と実習施設の概要の理解 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章2を読む 90分 〈復習〉施設実習の施設・概要の理解と定着 90分
	9	施設実習における実習生の目標・課題 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章4を読む 90分 〈復習〉施設実習の目標・課題理解と定着 90分
	10	施設実習の日誌の書き方、考え方 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章6を読む 90分 〈復習〉施設実習の日誌の書き方の理解と定着 90分
	11	施設と施設実習の実際（ケーススタディ） 〈予習〉関連配布物とテキスト第5章7を読む 90分 〈復習〉施設実習のケーススタディの理解と定着 90分
	12	保育所保育の特色と保育実習Ⅰのねらい、実習目標・課題の立て方 〈予習〉関連配布物とテキスト第4章1.2.3.4を読む 90分 〈復習〉保育実習の特色の理解と定着 90分
	13	部分実習の考え方・進め方② （含、ロールプレイ） 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章6を読む 90分 〈復習〉部分実習の考え方の理解と定着 90分
	14	部分実習の考え方・進め方③ （含、ロールプレイ） 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章6を読む 90分 〈復習〉部分実習の進め方の理解と定着 90分
	15	保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰ 実習の進め方、実習日誌の書き方のまとめ 〈予習〉関連配布物とテキスト第2章2.5.6を読む 90分 〈復習〉保育実習Ⅰ・施設実習Ⅰの理解と定着 90分
定期試験	◆定期試験〔 レポート 〕 ◆振り返り・フィードバック〔 成績発表時にコメントを入れ返却します 〕	

授業科目名	保育実習Ⅰ ＊			教員名	室井 佑美		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕						卒業認定・学位授与方針
							DP6
授業内容を示すキーワード	保育所　見学･観察実習　参加実習　部分実習　夏休み保育実践ボランティア						
授業の概要	保育所において実習指導者の指導の下、見学･観察実習、参加実習、部分実習を中心に、保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 保育所の機能と役割を具体的に理解するとともに、子どもの観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解および保育士の職務に対する理解を深める。 【到達目標】 保育所の機能や役割について観察を通して把握し、説明ができる。子どもへの観察やかかわりを通して、発達段階を理解し、個別性を実感して洞察を深め、直接的に援助へと行動ができる。保育士の指導･援助を得て、自ら保育を部分的に実践し、振り返りから課題を見つけ出せる。						
授業の方法等	原則、公立保育所（一部、私立保育所）において、見学･観察実習、参加実習、部分実習を中心に2週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔 総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15% 〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学 厚生労働省『保育所保育指針解説書』、内閣府『幼保連携型認定こども園教育･保育要領解説』						
参考書	神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌･指導計画』萌文書林 『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）』文部科学省						
関連科目	実習指導Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	細菌検査陰性、実習指導Ⅰの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 また、1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。 実習園は、原則として居住地をもとに大学が依頼し、当該の市区町村が決定します。						

授業計画と時間外学習	【実習の内容】 1. 保育所の役割と機能 （1）保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり （2）保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 （1）子どもの観察とその記録による理解 （2）子どもの発達過程の理解 （3）子どもへの援助や関わり 3. 保育内容･保育環境 （1）保育の計画に基づく保育内容 （2）子どもの発達過程に応じた保育内容 （3）子どもの生活や遊びと保育環境 （4）子どもの健康と安全 4. 保育の計画･観察･記録 （1）全体的な計画と指導計画及び評価の理解 （2）記録に基づく省察･自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 （1）保育士の業務内容 （2）職員間の役割分担や連携･協働 （3）保育士の役割と職業倫理 （3）保育士の役割と職業倫理 【予習･復習の内容】 ･実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ･実習日誌の記入や部分･責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。

授業科目名	施設実習Ⅰ ＊			教員名	宇田川 和久		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業･免許･資格との関係	○保育士資格必修〔保育実習Ⅰ〕						卒業認定・学位授与方針
							DP6
授業内容を示すキーワード	児童福祉施設　障害児･者　児童養護　日常生活支援　施設保育士　デイリープログラム						
授業の概要	乳児院や児童養護施設などの居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等の生活に参加し、実習指導者の指導の下、利用者の理解を図るとともに、施設の役割や機能及び保育士としての職務、養護や支援の実際を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 児童福祉施設等で子どもや利用者とともに生活することにより、施設における保育士としての役割や養護、支援の実際、施設の役割と機能について理解する。 【到達目標】 児童福祉施設等の役割と機能、施設等の生活と一日の流れ、養護の意義と内容、技術などについて理解し、説明できる。子どもや利用者の心情等を受容し、共感することができる。職員の指導･援助を得て子どもや利用者に対する援助･支援の一部を担当できる。						
授業の方法等	居住型児童福祉施設や障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所等において、2週間の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法	■その他〔 総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15% 〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	実習指導Ⅱ　社会的養護Ⅰ　社会的養護Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザーまたは担当教員に直接質問してください。						
履修上の注意	細菌検査陰性、実習指導Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 実習施設の決定は大学が行います。						

授業計画と時間外学習	【実習の内容】 1. 施設の役割と機能 （1）施設における子どもや利用者の生活と保育士の援助や関わり （2）施設の役割と機能 2. 子どもや利用者の理解 （1）子どもや利用者の観察とその記録 （2）個々の状態に応じた援助や関わり 3. 施設における子どもや利用者の生活と環境 （1）計画に基づく活動や援助 （2）子どもや利用者の心身の状態に応じた生活と対応 （3）子どもや利用者の活動と環境 4. 計画と記録 （1）支援計画の理解と活用 （2）記録に基づく省察･自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と倫理 （1）保育士の業務内容 （2）職員間の役割分担や連携 （3）保育士の役割と職業倫理 【予習･復習の内容】 ･実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ･実習日誌の記入や部分･責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。

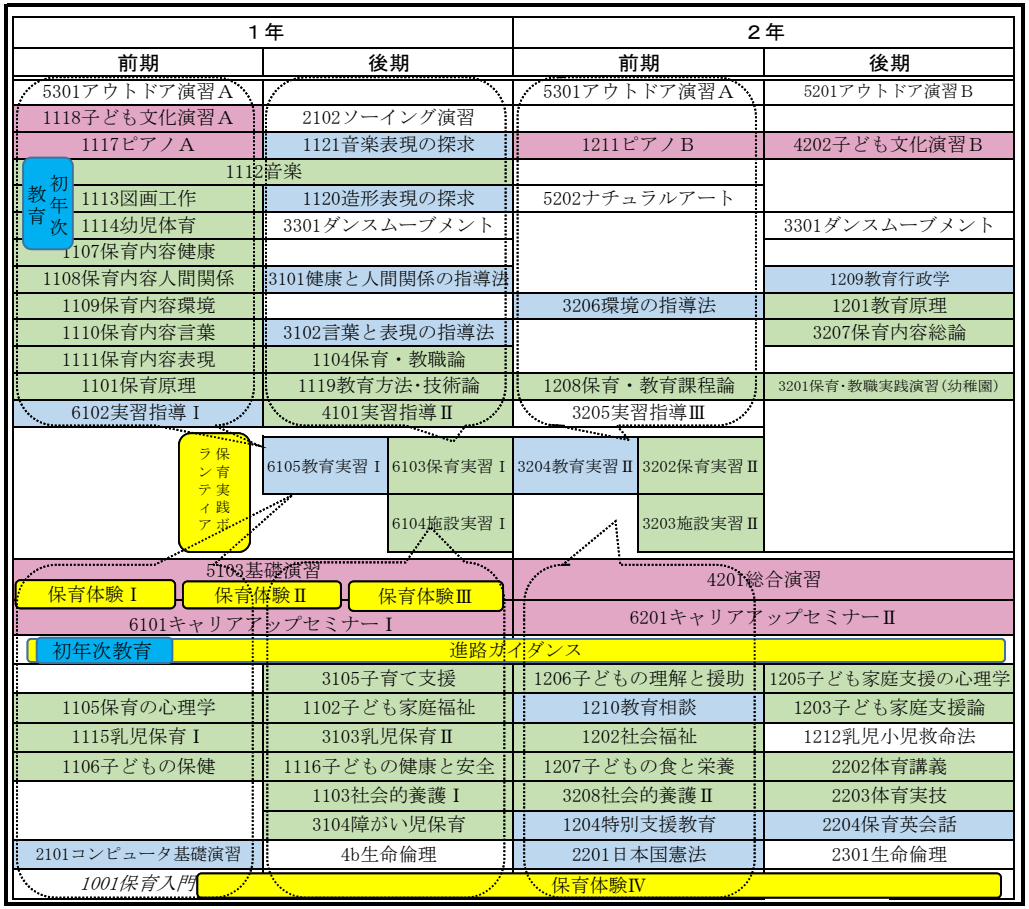
授業科目名	教育実習Ⅰ ＊			教員名	今村 麻子		
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	1	授業形態	実習
卒業･免許･資格との関係	○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習〕						卒業認定・学位授与方針 DP6
授業内容を示すキーワード	幼稚園　幼稚園教諭 観察実習　部分実習　子どもの発達理解						
授業の概要	幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児と生活をともにしながら幼児の発達理解に努め、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動の基本的事項を学ぶとともに、幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術の基礎を培う。特に、実際の現場において見学・観察を行うことで、幼児の実態や幼稚園教諭が行うさまざまな活動（援助、学級経営、その他職務など）を学ぶ。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼稚園での生活を通して、幼児や教育活動の保育環境等に対し適切な観察行うとともに、幼稚園教諭の補助的な役割を担うことを通して、幼児及び幼稚園の実態を理解し、学級経営や教育活動の特色を理解する。 【到達目標】 幼児との関わりを通じて、その実態や課題を把握することができる。教諭の保育を視点を持って観察し記録できる。実習園の保育方針や組織体制を理解している。クラスの担任の補助的な役割を担うことができる。						
授業の方法等	公立または私立の幼稚園において、見学・観察実習を中心に1週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■その他〔 総合評価:実習園評価 65%、日誌評価 20%、勤惰状況 15% 〕100%						
教科書	『実習ガイドブック』 山村学園短期大学 文部科学省『幼稚園教育要領解説』、内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』						
参考書	神永直美『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 『幼稚園教育指導資料（第1集、第3集、第5集）』文部科学省						
関連科目	実習指導Ⅰ　教育実習Ⅱ						
質問受付の方法	実習アドバイザー及び担当教員へ直接質問してください。						
履修上の注意	実習指導Ⅰ・Ⅱの出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 1年次の夏休み期間中に保育所等における「保育実践ボランティア」への参加は必須です。 実習園の決定は、希望調査を実施して大学で行います。						

授業計画と時間外学習	【実習の内容】 1. 幼稚園の一日、生活の流れを把握する。 2. 幼児の発達や興味・関心、個性などの幼児に関する理解に努める。 3. 物的環境や人的環境、社会的環境など保育環境について学ぶ。 4. 保育内容や幼児の活動の様子について学ぶ。 5. 幼稚園教諭の行うさまざまな活動について知る。 【予習・復習の内容】 ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。 ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。

山村学園短期大学子ども学科カリキュラムツリー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）
子ども学科では、建学の精神（質実・英知・愛敬）、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第43条（卒業）に示す所定の教育課程を修め、66単位以上を累積GPA一定以上の成績で修得し、以下のような知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。
（知識・技能）
1 保育者としての専門的知識・技能
2 社会人として必要な教養・知識
（思考力・判断力・表現力）
3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について考察する力、さらに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもって的確に表現する力
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）
4 保育への情熱と使命感を持って社会に貢献しようとする主体的・積極的な態度
5 人や自然を深く愛し、慈しむ態度
6 社会人として必要なマナー・常識・態度

保育士必修科目	幼稚園教諭二種必修科目	卒業・学科必修科目	選択科目



○科目の前の数字は、千の位：ディプロマポリシーのNo.、百の位：履修学年，十と一の位：同一ディプロマポリシー内の科目の順番を示す。
○保育体験Ⅰは幼稚園・保育所の協力を得て行うふれあい体験活動。Ⅱは幼稚園・保育所見学、Ⅲは施設見学を示す。保育体験Ⅳは１・２年生全員が参加するボランティア活動を示す。

2019年度　実務教員の略歴

教員名	担当科目	略歴
相沢　和恵	キャリアアップセミナーⅠ 基礎演習 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 保育内容総論 実習指導Ⅲ	昭和52年より東京都区立の幼稚園で幼稚園教諭として勤務。 平成19年から保育所にて派遣保育士、非常勤保育士として勤務の後、平成26年短期大学・専門学校の非常勤・専任を経て現在に至る。
新井　英人	教育原理 総合演習 スキルアップセミナーⅡ	昭和54年よりさいたま市立（大宮市立）小学校やローマ日本人学校の教員として勤務。 平成12年からさいたま市立（大宮市）教育委員会で勤務の後、平成18年さいたま市立の小学校で教頭・校長を経て現在に至る。
今村　麻子	保育の心理学 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 保育・教職実践演習（幼稚園） 総合演習 スキルアップセミナーⅡ 実習指導Ⅲ	平成3年より幼稚園教諭として勤務。平成11年より保育事業会社にてベビーシッター派遣、保育園園長、保育事業部マネージャーの業務を行う。産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとして活動後、平成26年保育専門学校・短大の講師を経て、現在に至る。
宇田川　和久	キャリアアップセミナーⅠ 実習指導Ⅱ 基礎演習 実習指導Ⅲ	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。 平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉県立特別支援学校校長を経て現在に至る。
橋本　淳一	キャリアアップセミナーⅠ 基礎演習 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 基礎演習 保育・教職実践演習（幼稚園） 実習指導Ⅲ	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。 昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。
室井　佑美	保育原理 実習指導Ⅰ 実習指導Ⅱ 実習指導Ⅲ	平成17年より東京都区立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。 平成19年からは大学にて助教（実習担当）、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。

山村学園短期大学

〒350-0396　埼玉県比企郡鳩山町石坂６０４

【TEL】 049-296-2000

【FAX】 049-096-4880